

## 外国語ワーキンググループにおけるとりまとめのイメージ(案) [別添資料]

別添1：学習指導要領等の構造化のイメージ（仮案・調整中）

別添2：資質・能力の三つの柱に沿った小・中・高を通じて外国語教育において育成すべき  
資質・能力の整理

別添3：（参考）資質・能力を支える基盤としての言語能力向上の観点と外国語教育における改善・  
充実の方向性（たたき台）

別添4：資質・能力を育成する学びのプロセスの要素イメージ

別添5：「英語」において特に重視すべき思考力・判断力・表現力等の例

別添6：小・中・高等学校を通じて一貫した目標設定の在り方について

別添7：小・中・高等学校を通じた外国語教育のイメージ

資料8：外国語教育の目標と学習過程の全体像（案）イメージ

資料9：「外国語」等における小・中・高等学校を通じた国の指標形式の目標イメージ たたき台

資料10：外国語教育における「見方や考え方」を働かせた深い学びと資質・能力の育成（イメージ案）

資料11：次期学習指導要領の3・4年生の年間指導計画イメージ(案)たたき台

資料12：次期学習指導要領の5・6年生の年間指導計画イメージ(案)たたき台

資料13：高等学校における外国語科目の改訂の方向性として考えられる構成(案)たたき台

資料14：外国語教育における観点別評価 イメージ たたき台

資料15：外国語教育におけるICTの活用について たたき台

別添16：外国語教育における目標・学習プロセス・評価の構造イメージ

（参考）小・中・高等学校における外国語の学習指導案 イメージ

下記のような構造をイメージしながら、各教科等の意義や教科・科目等の構成、各教科・科目等の内容を見直す必要があるのではないか。その際、教える側の視点だけでなく学習する側の視点にも立ち、学習プロセスの在り方や身に付ける資質・能力等について整理していく必要があるのではないか。

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家  
及び社会の形成者として必要な資質の育  
成を期す

教科横断的・総合的に育成すべきさまざまな資質・能力

教科等間の往還  
(カリキュラム・マネジメント)

	個別の知識や技能 (何を知っているか、 何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)
教科学習	各教科に固有の知識や 個別のスキル	各教科の本質に根ざした問題解決の能 力、学び方やものの考え方	各教科を通じて育まれる情意、 態度等
総合的な学習	(各学校で設定)	横断的・総合的な問題解決の能力	実社会における横断的・総合的な 問題解決に取り組む態度
特別活動	集団の運営に関する方法や 基本的な生活習慣等	よりよい集団の生活や 自己の生活習慣等を形成していく能力	自己の役割や責任を果たす態度等
道徳教育	道徳的価値	道徳的判断力	道徳的心情、 道徳的実践意欲と態度

アクティブ・ラーニングの視点に立った  
深い学び、対話的な学び、主体的な学びの実現

○幼児教育においては、主体的な活動である遊びを通じて総合的に指導。

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>○外国語の特徴やきまりに関する理解 ・音声、語彙・表現、文法の知識</p> <p>○言語の働き、役割に関する理解 (例) ・コミュニケーションを円滑にする (繰り返す, 言い換える 等) ・気持ちを伝える (感謝する, 謝る 等) ・情報を伝える (説明する, 理由を述べる 等) ・考えや意図を伝える (賛成・反対する, 主張する 等) ・相手の行動を促す (依頼する, 許可する 等)</p> <p>※各言語活動に応じた言語の働き</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を、4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）を活用した実際のコミュニケーションにおいて運用する技能 など</p>	<p>◆外国語で、情報や考えなどを表現し伝え合う力</p> <p>○コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、幅広い話題について、外国語を聞いたり読んだりして情報や考えなどを的確に理解するコミュニケーション力</p> <p>○コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、幅広い話題について、外国語を話したり書いたりして情報や考えなどを適切に表現するコミュニケーション力</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、外国語で話したり書いたりして情報や考えなどの概要・詳細・意図を伝え合うコミュニケーション力</p> <p>◆考えの形成、整理</p> <p>○目的等に応じて、外国語の情報を選択したり抽出したりする力</p> <p>○知識や得た情報を活用して、自分の意見や考えを外国語で形成・整理・再構築する力</p> <p>○形成・整理・再構築した自分の意見や考えを、実際に外国語で表現する力</p> <p>など</p>	<p>○外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度</p> <p>○自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを外国語で話したり書いたりして表現しようとする態度</p> <p>○外国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現するとともに他者を理解するなど互いの存在について理解を深め、尊重しようとする態度</p> <p>など</p>

小・中・高を通じて外国語教育において育成すべき資質・能力の整理（たたき台）

	<p>知識・技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)</p>
<p>外国語活動 小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語への慣れ親しみ</li> <li>○外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること 外国語を聞いたり、話したりすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通じて言語の大切さや、文化の違いに気付く</li> <li>○外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul>
<p>外国語 小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の仕組みへの気付き (音、単語、語順など)</li> <li>○聞くことに関する知識・技能 話すことに関する知識・技能 外国語を読んだり、書いたりすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度</li> <li>○外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>外国語 中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語の音声、語彙・表現、文法の知識</li> <li>○言語の働きや役割などの理解</li> <li>○外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を、4技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）を活用して実際のコミュニケーションで運用する技能</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合う力</li> <li>○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度</li> <li>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

小・中・高を通じて外国語教育において育成すべき資質・能力の整理（たたき台）

<p>知識・技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)</p>
<p>外国語 高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語の音声、語彙・表現、文法の知識</li> <li>○言語の働きや役割などの理解</li> <li>○外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を、4技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）を活用して実際のコミュニケーションで運用する技能 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や・社会問題まで幅広い話題について、外国語を聞いたり読んだりして情報や考えなどを的確に理するコミュニケーション力</li> <li>○コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、日常的な話題から時事問題・社会問題まで幅広い話題について、外国語を話したり書いたりして情報や考えなどを適切に表現するコミュニケーション力</li> <li>○外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、外国語で話したり書いたりして情報や考えなどの概要・詳細・意図を伝え合うコミュニケーション力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度</li> <li>○自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度</li> <li>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを外国語で話したり書いたりして表現しようとする態度 など</li> </ul>

## 言語力の育成方策について（報告書案）（平成19年8月16日言語力育成協力者会議配付資料）

### （1）言語の果たす役割

①知的活動（特に思考や論理）の基盤、②感性・情緒の基盤、③他者とのコミュニケーション（対話や議論）の基盤

### （2）指導の充実

◆言語力の育成については、国語科を中核としつつ、すべての教科等での言語の運用を通じて、論理的思考力をはじめとした種々の能力を育成するための道筋を明確にしていくことが必要。

#### ①知的活動に関すること

- ・事実を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝える技能を伸ばすこと
- ・自らの考えを深めることで、解釈や説明、評価や論述をする力を伸ばすこと
- ・考えを伝え合うことで、自らの考えや集団の考えを発展させる力を伸ばすこと

#### ②感性・情緒等に関すること

- ・感性や情緒は、他者との人間関係の中で育まれていくものであり、美しい言葉や心のこもった言葉の交流は、人間関係を豊かなものに高めていくものであること

#### ③他者とのコミュニケーションに関すること

- ・個々人が他者との対話を通して考えを明確にし、自己を表現し、他者を理解するなど、お互いの考えを深めていくことが人々の共同生活を豊かなものにすること

◆発達の段階が上がるにつれて、具体と抽象、感覚と論理、事実と意見、基礎と応用、習得と活用と探究などについて認識や実践ができる水準が変化。それに応じて、指導内容や言語活動の特色付けをしていく必要がある。

### 次期学習指導要領において外国語教育を通じて求められる資質・能力の改善（イメージ）

学習指導要領において、③言語の果たす役割として他者とのコミュニケーション（対話や議論等）の基盤を形成する観点から資質・能力全体を貫く軸として重視しつつ、上記①、②の観点からも求められる資質・能力が明確となるよう整理することを通じて、外国語教育を改善・充実

- ・・・身近で簡単な話題について友人に質問したり質問に答えたりする能力（小学校）
- ・・・互いの考えや気持ちなどを理解し、根拠を持って英語で伝え合う能力（中学校）
- ・・・幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力（高等学校）
- ・・・相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度（小学校）
- ・・・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度（中学校・高等学校）

思考力  
判断力  
表現力  
等

学びに  
向かう力、  
人間性等

目的に応じたコミュニケーションのプロセス

目的の設定・理解

目的に応じた  
発信までの方向性の決定・言語活動等の見通し

目的達成のための言語活動  
(技能統合型)

言語・内容の両面におけるまとめと振り返り

次のコミュニケーションにおける  
目的の設定・活動へ

※必ずしも一方通行の流れではない

聞くこと

読むこと

話すこと

書くこと

語彙・表現・文法等

複数の技能を統合した活動

プロセスの中で働く思考・判断・表現等のうち、特に重視すべきものの例

思考

意見や考えの形成

目的の理解

目的に応じた情報の抽出

関連する知識や情報の検索

課題について得られた知識や情報を整理・統合

知識や情報を活用して自分の意見や考えを形成・整理

意見や考えの吟味と再構築

多様な見方や考え方に基づいた次の思考プロセスへ

判断

目的の明確化と必要な情報の把握

目的達成に必要な情報の選択

様々な見方や考え方の共通点・相違点等の評価・選択・決定

自分の考えや主張を適切な語彙・表現・文法を用いて効果的に伝えることの意味決定

表現

情報間の関係性を構成

目的に関する論点・解決策の整理

流暢さと正確さのバランス

インタラクションによる表現

目的に応じて伝え合うことを通じた表現の深化・多様化

「聞くこと」及び「読むこと」を活用した「話すこと」及び「書くこと」による言語活動（図表等による表現も含む）

技能統合型の活動を通じた英語による思考力・判断力・表現力を育成

※2技能以上を効果的に組み合わせて統合的に活用（例）（聞いたり読んだりして得た情報について、その概要や要点を的確に把握し、自分の意見や考えなどとの共通点や相違点などを示しながら論理的・批判的に話したり書いたりして表現する力、与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力、相手からの問いかけに応じて自身の経験や考えを適切に述べる力） など

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランス良く総合的に育成するとともに、複数の領域を統合的に活用し、情報や考えなどを的確に理解したり、目的に応じたコミュニケーションのプロセスを通じて適切に伝えたりする思考力、判断力、表現力。

**(例)****〈「聞くこと」の領域〉**

- まとまりのある英文、比較的長い対話文、スピーチ、プレゼンテーション、講義などを聞き、複数の情報を整理するなど思考・判断して、必要な情報を得たり概要や要点を把握したりする力。

**〈「読むこと」の領域〉**

- まとまりのある英文、比較的長い対話文、英語で書かれた図表などを読み、複数の情報を整理・統合するなど思考・判断して、必要な情報を得たり概要や要点を把握したりする力。

**〈「話すこと」の領域〉**

- （発表）多様な考え方ができる話題や時事問題・社会問題などについて話して説明するとともに、自分の意見や考えなどをまとめ、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に話して伝える力。
- （やり取り）身近な話題や知識のある話題について、情報や意見について交換するとともに、自分の意見や考えをまとめ、適切な語彙・表現・文法を用いて伝え合う力

**〈「書くこと」の領域〉**

- 多様な考え方ができる話題や時事問題・社会問題などについて、自分の意見や考えなどをまとめ、論点や根拠を明確にしながら、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に書いて伝える力。

**〈技能統合の領域〉（4技能のうち2技能以上を統合的に活用）**

- 聞いたり読んだりして得た情報（英文や図表など）について、その概要や要点を的確に把握するとともに、自分の意見や考えなどとの共通点や相違点などを示しながら、論理的・批判的に話したり書いたりして表現する力。

※「技能」と「領域」の考え方については引き続き検討



# 小・中・高等学校を通じて一貫した目標設定の在り方について

改訂版(案)

2016年1月12日現在 取扱注意

別添6

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会が発表。

## 英語教育の抜本的強化のイメージ

(秋以降、外国語WGにおいて専門的に検討予定)

※具体的な小学校の授業時数については、年内~年明けを目途に教育課程全体の構成とともに検討を進め、一定の方向性を提示



## 【高等学校】

◎外国語やその背景にある文化を尊重し、外国語の見方・考え方を働かせ、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、表現し、伝え合ったりするコミュニケーションを行うことができる資質・能力を次のとおり育成する。

- ①外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付ける。
- ②外国語で目的・場面・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解したり適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーション力を養う。
- ③外国語の学習を通じて、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

## 【中学校】

◎外国語やその背景にある文化を尊重し、外国語の見方・考え方を働かせ、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、簡単な情報や意見などの交換などのコミュニケーションを行うことができる資質・能力を次のとおり育成する。

- ①外国語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付ける。
- ②外国語で具体的で身近な話題についての理解や表現、簡単な情報や意見などの交換などができるコミュニケーション力を養う。
- ③他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

## 【小学校高学年】

◎言語や文化の多様性を知り、外国語の見方・考え方を働かせ、それらの大切さに気付いて、相手意識をもって聞いたり話したりすることに加えて、読んだり書いたりするコミュニケーション能力の基礎となる資質・能力を次のとおり育成する。

- ①外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、言語の仕組み（音、単語、語順など）や、その背景にある文化を尊重するようにする。
- ②身近で簡単なことについて外国語の基本的な表現に関わって聞くことや話すことなどのコミュニケーションを行う力を養う。
- ③相手意識を持ってコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

## 【小学校中学年】

◎言語や文化の多様性を知り、外国語の見方・考え方を働かせ、それらの大切さに気付くとともに、相手意識を持って聞いたり話したりするコミュニケーション能力の素地となる資質・能力次のとおりを育成する。

- ①外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付く。
- ②外国語の音声等に慣れ親しませながら、コミュニケーションを行う力を養う
- ③相手意識を持ってコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示



# 外国語教育の目標と学習過程の全体像（案）イメージ

## 今後の方向性

次期学習指導要領では、小・中・高等学校を通じて①学校段階間の学びを円滑に接続し、②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、一貫した教育目標(指標形式の目標)などを提示する方向で改善を図る。

別添7にあわせて  
後日修正

各学校では、学習指導要領に基づき、技能ごとの学習到達目標を設定し、目標に沿った指導及び評価を一体的に実施

## 教科等の目標の改善・イメージ

	小学校中学年(活動型)	小学校高学年(教科型)	中学校	高等学校
教科等の目標	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、相手意識を持ってコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声等に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、相手意識を持ってコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、身近で簡単なことについて外国語の基本的な表現に関わって聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、具体的で身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、幅広い話題について情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う
	○自分や身の回りのごく限られた話題 ・話し手の意向などを理解すること ・自分の考えなどを話すこと	○身近で簡単な話題 ・話し手の意向などを理解すること ・自分の考えなどを話すこと ○アルファベットの文字 ・アルファベットの文字を読むこと・書くこと	○具体的で身近な話題 ・話し手の意向などを理解すること「~できるようにする」 ・自分の考えなどを話すこと ・書き手の意向などを理解すること ・自分の考えなどを書くこと	(必修教科目)・身近な話題・4技能の基礎的な能力・日常的な話題、関心のある分野・情報や考えなどを的確に理解し、英語話者が理解できる程度の英語で適切に伝える(選択科目)・時事的な話題や社会問題を含む幅広い話題・情報や考えなどを的確に理解し、英語話者が理解できる程度の英語である程度流暢に伝える
外国語活動・英語の目標	(例) 話すこと ・自分や身の回りのごく限られたことについて自分の気持ちなどを伝えようとするようにする。 ・身の回りのごく限られたことについて、定型表現を使って質疑応答しようとするようにする。	(例) 話すこと ・身近で簡単なことについて自分の考えや気持ちなどを初歩的な英語やりとりできるようにする。 ・身近で簡単なことについて与えられたテーマについて初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようにする。	(例)「話すこと」 ・日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。 ・身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。	(例)「話すこと」 ・身近な話題や知識のある話題について、簡単な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。 ・身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができるようにする。 ・時事問題や社会問題について、内容を具体的に説明するとともに自分の意見を加えて話すことができるようにする。
	○ 目的の設定・理解 簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて話したり聞いたりして、外国語によるコミュニケーションを体験する。 ○ 目的達成のための活動 ・使用表現について理解したり練習したりする活動 ・互いの考えや気持ちを伝え合う活動 ※ペアワーク・グループワーク [言語の使用場面の例] ・特有の表現がよく使われる場面 挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内 ・児童の身近な暮らしにかかわる場面 家庭生活、学校での学習・活動、地域行事、子どもの遊び [コミュニケーションの働きの例] ・相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す ○ まとめとふり返し	○ 目的の設定・理解 馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりできる。 ○ 目的達成のための活動 ・言語材料について理解したり練習したりする活動 ・互いの考えや気持ちを伝え合う活動アルファベットの文字や単語等の認識を深めたり、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴や語順に気付いたりする活動 ※ペアワーク・グループワーク [言語の使用場面の例] ・特有の表現がよく使われる場面 挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内 ・児童の身近な暮らしにかかわる場面 家庭生活、学校での学習・活動、地域行事、子どもの遊び [コミュニケーションの働きの例] ・相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す ○ まとめとふり返し	○ 目的の設定・理解 具体的で身近な話題の概要・要点を理解し、考えや気持ち等を伝えたり、簡単な情報交換をしたりする。 ○ 目的達成のための活動 ・言語材料について理解したり練習したりする活動 ・互いの考えや気持ちを伝え合う活動 ※具体的な場面にあった適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする ※小学校で扱った語、表現等を繰り返し学ぶ。その際、小学校とは異なる場面で使ったり別の意味で活用したりするなどスパイラルに学ぶ ※ペアワークやグループワーク [言語の使用場面の例] ・特有の表現がよく使われる場面(挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行、電話での応答) ・生徒の身近な暮らしにかかわる場面 家庭生活、学校での学習・活動、地域行事 [言語の働きの例] ・コミュニケーションを円滑にする、気持ちを伝える、情報を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す ○ まとめとふり返し ・言語面でのまとめと振り返り ・内容面でのまとめと振り返り	○ 目的の設定・理解 学校や社会生活に関する幅広い話題の概要・要点を理解し、情報や考えなどを伝えることができる ○ 目的達成のための活動 ・幅広い話題について情報や考えなどを的確に理解する活動 ・幅広い話題について発表、討論・議論、交渉などを行う活動 [コミュニケーション能力の設定] ・4技能の基礎的な能力(必修教科目) ⇒ 的確に理解し、適切に伝える能力(必修教科目及び選択科目) ・英語話者が理解できる程度の英語(必修教科目) ⇒ 英語話者が理解できる程度の英語+ある程度の流暢さ(選択科目) [話題の設定] 身近な話題及び日常的な話題や関心のある分野(必修教科目) ⇒ 時事的な話題や社会問題など(選択科目) [情報や考えなどのやりとりに関する言語活動の設定] ・スピーチやプレゼンテーション等 ⇒ ディベートやディスカッション等 ※小・中学校で扱った語いや表現等を繰り返し学ぶ。その際、小・中学校とは異なる場面や文脈で活用できるようにするなど、スパイラルに学習する ※具体的な場面に即した適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする ※ペアワークやグループワークを学習形態の基本とする ○ まとめとふり返し ・言語面でのまとめと振り返り(流暢さを重視したスピーキングの後で行う正確さをより重視したライティング(質的な高まり)など) ・内容面でのまとめ振り返り(得られた情報や考えの整理など)
英語の学習過程				

聞くこと					
	A1	A2	B1	B2	
(参考) CEFR 自己評価表	はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	(ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの) 直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。	長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。標準語の映画なら、大多数は理解できる。	
想定される 学校種・教科、科目等	小学校中学年・外国語活動 + 小学校高学年・外国語	小学校高学年・外国語 + 中学校・外国語	中学校・外国語 + 高等学校・外国語、必修科目	高等学校・外国語、選択科目	(高等学校・外国語、選択科目 + 専門教科、英語 等)
国の指標形式の 主な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>□アルファベットの発音を聞いて、どの文字であるかがわかるようにする。</li> <li>□挨拶や短いごく簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。</li> <li>□ゆっくりははっきりと、繰り返し話されれば、自分に関することや身近で具体的な事物を表わすごく簡単な語句や文を聞き取ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□挨拶や簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。</li> <li>□日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができるようにする。</li> <li>□ゆっくりははっきりと話されれば、身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明を、視覚情報などを参考にしながら理解することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□短い簡単なメッセージやアナウンスを聞いて、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</li> <li>□身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。</li> <li>□ゆっくりははっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。</li> <li>□比較的ゆっくりははっきりと話されれば、時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点を理解することができるようにする。</li> <li>□比較的ゆっくりははっきりと話されれば、馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組を視聴して、要点を理解できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□母語話者同士による多様な話題の長い会話を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。</li> <li>□身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を理解できるようにする。</li> <li>□自然な速さで話される時事問題や社会問題に関する長い説明を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。</li> <li>□ある程度知識のある社会問題や時事問題に関するラジオ番組やテレビ番組を視聴して、概要や要点を理解することができるようにする。</li> </ul>
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルファベットの発音の識別</li> <li>○挨拶や短いごく簡単な指示の理解と反応</li> <li>○自分に関することや身近で具体的な事物を表すごく簡単な語句や文の聞き取り など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶や簡単な指示の理解と反応</li> <li>○日常生活における基本的な情報の理解</li> <li>○身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明における必要な情報の聞き取り など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人的な事柄に関する短い簡単なメッセージの理解と反応</li> <li>○簡単なアナウンスからの情報取得</li> <li>○身の回りの事柄に関する平易で短い会話や説明の概要・要点理解 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話の概要・要点理解</li> <li>○時事問題や社会問題に関する短い平易な説明からの情報取得</li> <li>○馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組の要点理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な話題の長い会話の概要・要点理解</li> <li>○複雑な議論における話の展開や論点の理解</li> <li>○時事問題や社会問題に関する説明の概要・要点理解</li> <li>○ある程度知識のある話題のラジオ番組やテレビ番組の概要・要点理解 など</li> </ul>
言語の働きの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を發展させる ・話題を変える など</li> <li>〈気持ちを伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など</li> <li>〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など</li> <li>〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など</li> <li>〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など</li> </ul>				
言語活動の例 (共通話題: フェアトレード)	国名と食品名を表す単語を聞いて、それらを表すイラストと結び付けるとともに、国名とその国で生産量が多いと思われる食品名とを結び付ける。	イラストや写真を参考にしながら、お茶、コーヒー、綿などの農産品の主な生産国と生産者の収入に関する説明を聞いて、得た情報を表にまとめる。	サッカーボールの生産事情(生産国や生産者など)に関する説明を聞いて、その歴史や問題点を整理するとともに、日常生活においてフェアトレードが必要な他の製品に関する説明を聞いたたり読んだりしてさらに情報を得る。	日本におけるフェアトレード市場の歴史、現状、課題に関する説明を聞いて、必要な情報を得るとともに、それに基づいて、日本におけるフェアトレード市場拡大のためにどのような方策が有効であるかについて意見を出し合う。	自国のフェアトレード市場について話している会話を聞いて、各話者の国に関する情報を整理するとともに、国民一人当たりの認証製品購入額が高い国々の状況に関する説明を読んだ上で、日本においてフェアトレード市場を拡大するための方策についてプレゼンテーションを行う。

作成中

「書くこと」

書くこと					
	A1	A2	B1	B2	
(参考) CEFR 自己評価表	<p>新年の挨拶など短い簡単な葉書を書くことができる。</p> <p>例えばホテルの宿帳に名前, 国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。</p>	<p>直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。</p> <p>短い個人的な手紙なら書くことができる: 例えば礼状など。</p>	<p>身近で個人的に関心のある話題について, つながりのあるテキストを書くことができる。</p> <p>私信で経験や印象を書くことができる。</p>	<p>興味関心のある分野内なら, 幅広くいろいろな話題について, 明瞭で詳細な説明文を書くことができる。</p> <p>エッセイやレポートで情報を伝え, 一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。</p> <p>手紙の中で, 事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。</p>	
想定される 学校種・教科, 科目等	<p>小学校中学年・外国語活動 + 小学校高学年・外国語</p>	<p>小学校高学年・外国語 + 中学校・外国語</p>	<p>中学校・外国語 + 高等学校・外国語, 必履修科目</p>	<p>高等学校・外国語, 選択科目</p>	<p>(高等学校・外国語, 選択科目 + 専門教科, 英語 等)</p>
国の指標形式の 主な目標	<p>□目的を持ってアルファベットの太文字と小文字を活字体で書くことができるようにする。</p> <p>□例文を参考にしながら, 音声などで十分慣れ親しんだ語句や文を書き写すことができるようにする。</p>	<p>□自分に関するごく限られた情報を, 簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p> <p>□ごく身近な事柄について, 簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p>	<p>□自分が必要とする事柄について, 短い簡単なメモやメッセージなどを書くことができるようにする。</p> <p>□身近な事柄について, 簡単な語句や表現や用いて, 短い説明文を書くことができるようにする。</p> <p>□聞いたり読んだりした内容について, 簡単な語句や表現を用いて, 自分の意見や感想を書くことができるようにする。</p>	<p>□自分の経験や身近な事柄について, 複数のパラグラフから成る説明文を書くことができるようにする。</p> <p>□関心のある分野のテーマに関する記事や資料を読んで, その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。</p> <p>□関心のある分野のテーマについて, まとまりのある文章で具体的に説明するとともに, 自分の意見やその理由を加えて書くことができるようにする。</p>	<p>□関心のある分野のテーマについて, 事実や情報などを明確且つ詳細に伝える説明文を書くことができるようにする。</p> <p>□時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで, その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。</p> <p>□時事問題や社会問題など幅広い話題について, 得た情報を活用しながら, 自分の意見やその理由を論理的に書くことができるようにする。</p> <p>□Eメール, エッセイ, レポートなどを, それぞれの用途に合った文体で書くことができるようにする。</p>
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<p>○アルファベットの太文字・小文字</p> <p>○語間の区切りに留意した文(書き写し) など</p> <p>・発音されたアルファベットの太文字・小文字を活字体で書く。</p> <p>・語と語の区切りに注意して, 身近な事柄に関するごく簡単な文を書き写す。</p>	<p>○符号や語間の区切りに留意した簡単な挨拶</p> <p>○自分に関する基本的な情報</p> <p>○慣れ親しんだ語句を活用したごく身近な事柄や出来事の説明 など</p> <p>・符号や語と語の区切りに注意しながら, 定型表現を用いて, 簡単な挨拶文などを書く。</p> <p>・名前, 年齢, 趣味, 好き嫌いなど, 自分に関する基本的な情報を文で書く。</p> <p>・慣れ親しんだ語句を活用して, ごく身近な事柄や出来事, 自分の経験したことなどを説明する文を書くとともに, それを口頭で伝え合う。</p>	<p>○近況などを伝える短い簡単なはがきや手紙</p> <p>○身近な事柄に関する簡単な説明</p> <p>○平易で短い説明の要点のメモ, 意見・感想 など</p> <p>・自分の近況, 相手への感謝や謝罪などを伝える短い簡単なはがきや手紙を, 定型表現を活用しながら書く。</p> <p>・自分, 学校, 地域などの身近な事柄について, 簡単な語句や表現を用いて複数の文を書くとともに, それを口頭で伝え合う。</p> <p>・平易で短い説明を聞いたり読んだりして, 要点をメモするとともに, その内容について, 簡単な語句や表現を用いて自分の意見や感想を書く。</p>	<p>○身近な事柄に関する説明</p> <p>○関心のあるテーマに関する記事や資料の要約</p> <p>○関心のあるテーマに関する説明と意見・理由</p> <p>○目的に応じたメモ, アウトライン, 原稿 など</p> <p>・身近な事柄に関する説明文を, 文のつながりや文章全体の構成などに注意して書く。</p> <p>・関心のある時事問題や社会問題に関する記事や資料を読んで, 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら要約文を書く。</p> <p>・関心のある時事問題や社会問題の内容を具体的に伝える説明文を書くとともに, 賛否を明確にしながら, 自分の意見やその理由を書く。</p> <p>・書いた文章を読み返し, 表現や文法の適切さなどに留意して推敲する。</p> <p>・目的に応じてメモ, アウトライン, 原稿を書き, それらを活用してスピーチ, プレゼンテーション, ディベート, ディスカッションなどを行う。</p>	<p>○関心のあるテーマについての詳細な説明</p> <p>○幅広い話題に関する記事や資料の要約</p> <p>○幅広い話題に関する説明と意見・理由</p> <p>○目的に応じたメモ, アウトライン, 原稿 など</p> <p>・関心のある分野のテーマについて, 明確に事実を解説したり情報を伝えたりする詳細な説明文を書く。</p> <p>・時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで, 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら要約文を書く。</p> <p>・時事問題や社会問題など幅広い話題について, 様々な考え方を整理しながら明確に書いて伝えるとともに, 自分の意見や主張及びその理由を論理的に組み立てた論説を書く。</p> <p>・書いた文章を読み返し, 論点や根拠の明確さ, 表現や文法の適切さなどに留意して推敲する。</p> <p>・目的に応じてメモ, アウトライン, 原稿を書き, それらを活用してスピーチ, プレゼンテーション, ディベート, ディスカッションなどを行う。</p>
言語の働きの例	<p>〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など</p> <p>〈気持ちを伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など</p> <p>〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など</p> <p>〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など</p> <p>〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など</p> <p style="text-align: right;">各言語活動に応じた言語の働きの適宜選択</p>				
言語活動の例 (共通話題: 日常生活・時間の有効活用)	<p>日常生活における人の行動を表すイラストや写真と英語表現とを結び付け, 学習した単語や文を書き写す。</p>	<p>自分が平日及び週末にふだん何をしているかについて説明する文を書き, グループで伝え合う。</p>	<p>時間があればしてみたいと思うことや挑戦してみたいことを, その理由とともに説明する複数の文を書き, 発表する。</p>	<p>サマータイムを導入している国々におけるその効果や課題に関する複数の資料を読んで, 得た情報を書いて要約するとともに, それを口頭で相手に伝える。</p>	<p>日本でサマータイムを導入した場合に予想されるメリット・デメリットについて, 資料を活用しながら自分の意見を書き, 日本にサマータイムを導入すべきかどうかについて, グループでディスカッションを行う。</p>

作成中

「読むこと」＋言語活動における他教科との連携（例）

読むこと										
(参考) CEFR 自己評価表	A1		A2		B1		B2			
		例えば、掲示やポスター、カタログの中によく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。		ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。簡単に短い個人的な手紙は理解できる。		非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。		筆者の姿勢や視点が表れている現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。		
想定される 学校種・教科、科目等	小学校中学年・外国語活動 ＋ 小学校高学年・外国語		(小学校高学年・外国語) ＋ 中学校・外国語		中学校・外国語 ＋ 高等学校・外国語、必修科目		高等学校・外国語、選択科目 ＋ 専門教科、英語 等)			
国の指標形式の 主な目標	<input type="checkbox"/> ごく身近にあるアルファベットの文字を識別し、発音することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 音声で十分に慣れ親しんだ、ごく身近で具体的な事物を表わす単語を見て、その意味を理解できるようにする。		<input type="checkbox"/> 日常生活において身の回りにある英語の中の語句や単純な文を理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 平易な英語で書かれたごく短い物語を読んで、視覚情報などを参考にしながら、あらすじを理解することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、視覚情報などを参考にしながら、概要を理解することができるようにする。		<input type="checkbox"/> 日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 平易な英語で書かれた短い物語を読んで、あらすじを理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できるようにする。		<input type="checkbox"/> 身近な話題に関する比較的短い記事やレポート、資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 短い物語を読んで、あらすじを理解することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 社会的な話題に関する短い会話や説明を読んで、概要や要点を理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 英語学習を目的として書かれた記事やレポートを読んで、概要や要点を理解できるようにする。		<input type="checkbox"/> 関心のある分野の記事や資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 興味のある現代小説や随筆を読んで、概要を理解することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関する記事やレポート、資料を読んで、概要や要点、筆者の姿勢や視点を理解できるようにする。	
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<input type="checkbox"/> アルファベットの文字の識別（大文字・小文字を含む）と発音 <input type="checkbox"/> ごく身近で具体的な事物を表す単語の意味の理解 など		<input type="checkbox"/> 簡単な語句や単純な文の理解 <input type="checkbox"/> 平易でごく短い物語（視覚情報付）のあらすじ理解 <input type="checkbox"/> 平易でごく短い説明（視覚情報付）のスキミング など		<input type="checkbox"/> 平易で短いテキストのスキミング <input type="checkbox"/> 平易で短い物語のあらすじ理解 <input type="checkbox"/> 平易で短い説明のスキミング など		<input type="checkbox"/> 短い説明のスキミング <input type="checkbox"/> 短い物語のあらすじ理解 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関する平易な説明などのスキミングやスキミング など		<input type="checkbox"/> 幅広い話題を扱った英文のスキミングやスキミング <input type="checkbox"/> 現代小説や随筆の概要理解 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関する説明などのスキミングやスキミング、詳細理解 など	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの文字を見て、それが何かを識別する（大文字・小文字の識別を含む）。</li> <li>アルファベットの文字を見て、適切に発音する。</li> <li>音声で十分に慣れ親しんだ、ごく身近で具体的な事物を表す単語を見て、その意味を推測する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に関連した身近な掲示、カタログ、パンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る。</li> <li>平易な英語で書かれたごく短い物語を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、おおよそのあらすじを理解する。</li> <li>友人、家族、学校生活などの身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、概要を理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平易な表現が用いられている広告、パンフレット、予定表などから、自分が必要とする情報を得る。</li> <li>平易な英語で書かれた短い物語を読んで、おおよそのあらすじを理解する。</li> <li>友人、家族、学校生活などの身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれた短い説明を読んで、概要を理解する。</li> <li>読んで得た情報やそれに関する意見を伝え合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的短い記事、レポート、資料などから、自分が必要とする情報を得る。</li> <li>短い物語を読んで、あらすじを理解して、それを口頭で他者に伝える。</li> <li>時事問題や社会問題について情報を得るために効果的な資料を自分で探し、それを読んで概要を理解する。</li> <li>資料などを読んで得た情報や英語表現を、当該の話題に関するスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、エッセーライティングなどにおいて活用する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い話題を扱った記事、レポート、資料などから、自分が必要とする情報を得る。</li> <li>比較的簡単な現代小説や随筆を読んで、概要を理解するとともに、あらすじや感想を簡単に書いてまとめる。</li> <li>時事問題や社会問題について幅広く情報を得るために効果的な資料を自分で探し、必要となる情報の取得、概要理解、詳細理解など、目的に応じた読み方をする。</li> <li>資料などを読んで得た情報や英語表現を、当該の話題に関するスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、エッセーライティングなどにおいて活用する。</li> </ul>	
言語の働きの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など</li> <li>〈気持ち伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など</li> <li>〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など</li> <li>〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など</li> <li>〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など</li> </ul>									
言語活動の例 (共通話題： ユニバーサルデザイン)	公共交通手段や公共施設に関する単語を見て、単語とそれが表すイラストや写真とを結び付ける。		日本のユニバーサルデザインの具体例を紹介した説明を読んで、イラストや写真を参考にしながら概要を理解する。		海外のユニバーサルデザインの具体例を複数紹介した説明をグループで分担して読んで、自分が読んだ内容を他者に伝えるとともに、日本に取り入れた方がよいと思われるものについて、その理由などを含めて簡単な意見交換をする。		国内外のユニバーサルデザインが生かされた多様な事例について各自で資料を探して読んで、どのような人たちのために、どのような配慮がなされているかについて整理をした上で互いに情報を伝え合うとともに、今後どのようなユニバーサルデザインが必要となるかについて意見を出し合う。		国内外のユニバーサルデザインが生かされた多様な事例について各自で資料を探して読んで、そこから得た情報や英語表現を活用して、今後どのようなユニバーサルデザインが必要となるかについて、その理由なども含めて具体的なアイデアをまとめ、個人又はグループでプレゼンテーションを行う。	
言語活動における 他教科との連携（例）	[題材] 小学校「社会」「生活」		[題材] 小学校「社会」「生活」 中学校「社会」		[題材] 中学校「社会」 高等学校「公民」 [活動（意見交換）] 中学校「国語」 高等学校「国語」		[題材] 高等学校「公民」 [情報収集] 高等学校「情報」 [活動（意見交換）] 高等学校「国語」		[題材] 高等学校「公民」 [情報収集] 高等学校「情報」 [活動（プレゼンテーション）] 高等学校「国語」	

各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択

作成中

「話すこと（やりとり）」

話すこと（やりとり）					
	A1	A2	B1	B2	
(参考) CEFR 自己評価表					
想定される 学校種・教科（科目）等	小学校中学年・外国語活動 + 小学校高学年・外国語	小学校高学年・外国語 + 中学校・外国語	中学校・外国語 + 高等学校・外国語（必修科目）	高等学校・外国語（選択科目）	高等学校・外国語（選択科目） + 専門教科英語 等
国の指標形式の 主な目標	<input type="checkbox"/> 挨拶やごく短い簡単な指示に応答することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、自分に関することについてごく簡単な質問に答えることができるようにする。	<input type="checkbox"/> 相手の発話を理解できない場合など、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、ごく身近な話題について、簡単な表現を使って質疑応答をすることができるようにする。	<input type="checkbox"/> 日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や興味関心のある事柄について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題について、簡単な英語を用いて簡単な意見交換をすることができるようにする。	<input type="checkbox"/> 公共の場所（店、駅など）において、自分の問題を説明し、解決することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や興味関心のある事柄について、準備をしないで会話に参加することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や知識のある話題について、簡単な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。	<input type="checkbox"/> 幅広い話題に関する会話に参加し、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 知識のある時事問題や社会問題について、幅広い表現を用いて議論することができるようにする。
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> ごく簡単な質疑応答 など ・初対面の人や知り合いと簡単な挨拶を交わす。 ・ごく短い簡単な指示に応じる。 ・自分に関するごく簡単な質問に答えたり、相手についてごく簡単な質問をしたりする。	<input type="checkbox"/> 簡単な表現を用いた質疑応答 <input type="checkbox"/> 簡単な情報交換 など ・ごく身近な話題について、簡単な質問をしたり簡単な質問に答えたりする。 ・ごく身近な話題について、自分の思いや自分が知っていることなどを伝え合う。	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いた短い会話 <input type="checkbox"/> 簡単な意見交換 など ・身近な話題について、ある程度準備をした上で、短い会話をする。 ・身近な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、ある程度準備をした上で、得た情報や自分の考えや気持ちなどを伝え合う。	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いたディベート <input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いたディスカッション など ・身近な話題の会話において、準備をしないで自分の考えや気持ちなどを表現する。 ・身近な暮らしにかかわる多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 ・身近な話題や知識のある時事問題や社会問題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や自分の意見などを述べ合うとともに、相手の発話について質問したり意見を述べたりする。	<input type="checkbox"/> 幅広い表現を用いたディベート <input type="checkbox"/> 幅広い表現を用いたディスカッション など ・幅広い話題の会話や議論において、適切に発言の機会を獲得して情報や自分の意見などを表現する。 ・幅広い話題の会話や議論において、人の発言を誘ったり、相手や自分の理解を確認したり、話を展開・発展させたりする。 ・時事問題や社会問題など幅広い話題の議論において、聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現するとともに、互いの発言を検討し、課題の解決に向けて考えを生かし合う。
言語の働きの例	〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など 〈気持ち伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など 〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など 〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など 〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など				
言語活動の例 (共通話題：食)	食べ物好き嫌いについて、尋ねたり答えたりする。	食べ物好き嫌いについて、理由なども含めて互いに質疑応答する。また、相手から得た情報を他者に伝える。	健康な食生活を送るために大切だと思うことや食の安全に関して留意していることについて、ある程度の準備をした上で簡単な意見交換をする。	遺伝子組換え食品に関する議論を賛成・反対の立場に分けて整理し、得た情報を交換するとともに、遺伝子組換え食品の是非についてディベートを行う。	遺伝子組換え食品に関する幅広い議論をリサーチ・整理し、それに基づいて、今後の市場における遺伝子組換え食品の在り方についてディスカッションを行う。

各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択

作成中

「話すこと（発表）」

話すこと（発表）															
（参考） CEFR 自己評価表	A1		A2		B1		B2								
		どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語るができる。意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。物語を語ったり、本や映画のあらすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。	自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。										
想定される 学校種・教科（科目）等	小学校中学年・外国語活動 ＋ 小学校高学年・外国語	小学校高学年・外国語 ＋ 中学校・外国語	中学校・外国語 ＋ 高等学校・外国語（必修科目）	高等学校・外国語（選択科目）	高等学校・外国語（選択科目） ＋ 専門教科英語 等										
国の指標形式の 主な目標	<input type="checkbox"/> 定型表現を用いて、簡単な挨拶をすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を用いて、自分について話すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 日常生活において必要となる基本的な情報を伝えることができるようにする。 <input type="checkbox"/> ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や関心のある事柄について、簡単な説明をすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や関心のある事柄について、まとまりのある内容を話すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 関心のある分野のテーマに関する記事やレポート、資料の概要や要点を説明することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 知識のある時事問題や社会問題について、内容を具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 幅広い話題について、即興で、説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 幅広い分野のテーマについて、明瞭かつ詳細な説明をすることができる。 <input type="checkbox"/> 多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、様々な見方の長所・短所を示すとともに、自分の意見を幅広い表現を用いて論理的に説明することができるようにする <input type="checkbox"/> 聴衆の反応に応じて、発表の内容や方法を調整することができるようにする。										
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<input type="checkbox"/> 簡単な挨拶 <input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を用いた自分に関する情報など	<input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を用いた自己紹介 <input type="checkbox"/> 日常生活における基本的な情報 <input type="checkbox"/> ごく身近な事柄についての短い簡単なスピーチ など	<input type="checkbox"/> 身近な事柄についての説明（即興、準備あり） <input type="checkbox"/> 身近な話題に関する短いスピーチ など	<input type="checkbox"/> 身近な事柄についての説明やスピーチ（即興、準備あり） <input type="checkbox"/> 記事、資料などの概要・要点説明 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関するプレゼンテーション など	<input type="checkbox"/> 幅広い話題についての説明やスピーチ（即興、準備あり） <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関するプレゼンテーション <input type="checkbox"/> 話す速度や使用する表現の調整 など										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初対面の人や知り合いに簡単な挨拶をする。</li> <li>・自分の名前、年齢、好き・嫌い、興味のあることなどを、簡単な語句や文を用いて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語句や文を用いて、自分の趣味や特技などを含めた自己紹介をする。</li> <li>・時刻、日時、場所など、日常生活における基本的な情報を伝える。</li> <li>・ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちを含めて短い簡単なスピーチをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に関することや身の回りのことについて、簡単な語句や文を用いて即興で説明する。</li> <li>・自分や友人、学校生活などの身近な事柄や出来事に関する情報を伝える。</li> <li>・身近な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、自分の意見・主張やその理由を含めて短いスピーチをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分、友人、学校生活、地域社会などの身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明する。</li> <li>・身近な話題や関心のある事柄について、関連情報や具体例などを加えながら、まとまりのあるスピーチをする。</li> <li>・関心のある分野のテーマに関する記事やレポート、資料などを読んで、伝えるべき事項を整理した上で、概要や要点を発表する。</li> <li>・時事問題や社会問題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、自分の意見・主張やその理由を論理的に伝えるプレゼンテーションをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い話題について、即興で、概要を説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりする。</li> <li>・幅広い分野のテーマについて、関連情報や具体例などを加えながら、明瞭かつ詳細なスピーチをする。</li> <li>・多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、聞いたり読んだりしたことに基づいて情報を整理し、様々な見方の長所・短所を示しながら自分の意見・主張やその理由を論理的に伝えるプレゼンテーションをする。</li> <li>・聴衆の反応や理解度を確認しながら話し、必要に応じて、話す速度や使用する表現などを変える。</li> </ul>										
言語の働きの例	〈コミュニケーションを円滑にする〉 〈気持ちを伝える〉 〈情報を伝える〉 〈考えや意図を伝える〉 〈相手の行動を促す〉					・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など					各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択				
言語活動の例 (共通話題： 職業、職業選択)	興味のある職業や将来就きたいと思っている職業を伝える。	将来就きたいと思っている職業とその理由、その職業が具体的にどのような仕事をするかなどについて、準備をした上で簡単に発表する。	日本では認知度が低い職業、その分野で活躍している国内外の人物などについて読んで情報をまとめ、アウトラインを作成した上で発表する。また、発表内容に関する質問に答える。	将来の職業選択において重要視したい条件とその理由を具体的に説明するとともに、ワークライフバランスなどの視点も含め、どのような社会生活を理想と考えるかについてプレゼンテーションを行う。また、プレゼンテーションの内容について質疑応答を行う。	職場で起こり得る勤務上の問題（勤務体系、業務量、業務分担など）について、グループごとに関連した立場（社員、上司など）から解決策を出し合い、互いが合意できる結論をまとめて発表する。また、各グループからの発表を踏まえ、課題解決型のロール・プレイを行う。										



小・中・高等学校で一貫した目標(指標形式の目標を含む)の下で、発達段階に応じた「学習プロセス」を経ることによる思考力や判断力の深まり、外国語による表現力の向上、主体的・自律的に学習する態度の育成などを通じ、的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力を育成

## 資質・能力の例

小学校(中学年)

簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力

小学校(高学年)

馴染みのある表現を使って、自分の好きなものや一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力

中学校

○具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合う力  
○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション力

高等学校

○日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりするコミュニケーション力  
○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション力

思考力・判断力・表現力、主体的・自律的な態度に基づく、的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力の育成

## 指標形式の目標(「話すこと」の例)

小学校(中学年)

(例)  
・自分や身の回りのごく限られたことについて、自分の気持ちなどを伝えようとするようにする。

小学校(高学年)

(例)  
・身近で簡単なテーマについて、初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようにする。

中学校

(例)  
・身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。

高等学校

(例)  
・身近な話題や知識のある話題について、簡単な外国語を用いて情報や意見を交換し合うことができるようにする。

【見方や考え方の例】  
外国語やその背景にある文化を尊重し、他者との関わりの側面から言語を捉え、目的・場面・状況等に応じて、外国語で情報や考えなどを形成・整理・再構築し、そらを活用して、外国語を話したり書いたりして適切に表現し伝え合うために考えること

・対話的な学び  
・深い学び  
・主体的な学びへ

概念的な知識の獲得

思考力・判断力・表現力の育成

情意・態度の育成

## 目的に応じたコミュニケーションのプロセス

### 【学習プロセス】

- ① 目的の設定・理解
- ② 目的に応じた発信までの方向性の決定・言語活動等の見通し
- ③ 目的達成のための言語活動(技能統合型)
- ④ まとめと振り返り

次の活動へ

※詳細は次ページ参照

「見方や考え方」の成長・発展

※必ずしも一方通行の流れではない

目的の設定・理解

目的に応じた  
発信までの方向性の決定・  
言語活動等の見直し

目的達成のための言語活動  
(技能統合型)

言語・内容の両面における  
まとめと振り返り

目的に応じたコミュニケーションのプロセス

資質・能力の例について

小学校  
(中学年)

①【目的の設定・理解例】  
簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて話したり聞いたりして、外国語によるコミュニケーションを体験する。

③【目標達成のための活動例】  
使用表現について理解したり、練習したりする活動・お互いの考えや気持ちを伝え合う活動  
【言語の使用場面の例】  
・特有の表現がよく使われる場面：挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内  
・児童の身近な暮らしにかかわる場面：家庭生活、学校での学習・活動、地域行事、子どもの遊び  
【コミュニケーションの働きの例】  
・相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す

④・内容面でのまとめと振り返り（得られた情報についての感想やコミュニケーションを体験しての感想など）

○簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力

○馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活等について、友達に質問したり、質問に答えたりするコミュニケーション力

小学校  
(高学年)

①【目的の設定・理解例】  
馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりできる。

③【目標達成のための活動例】  
・言語材料について理解したり練習したりする活動  
・互いの考えや気持ちを伝え合う活動  
アルファベットの文字や単語等の認識を深めたり、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴や語順に気付いたりする活動  
【言語の使用場面の例】  
・特有の表現がよく使われる場面挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内  
・児童の身近な暮らしにかかわる場面：家庭生活、学校での学習・活動、地域行事、子どもの遊び  
【コミュニケーションの働きの例】  
・相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す

④・言語面でのまとめと振り返り（活用した言語表現等についての気づきなども含む）  
・内容面でのまとめと振り返り（得られた情報やそれについての考えやコミュニケーションを体験しての感想など）

○具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、お互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合う能力

○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション力

中学校

①【目的の設定・理解例】  
具体的で身近な話題の概要・要点を正確に理解し、考えや気持ち等を適切に伝えたり、簡単な情報交換をしたりできる。

③【目標達成のための活動例】  
・言語材料について理解したり練習したりする活動  
・互いの考えや気持ちを伝え合う活動  
※具体的な場面に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする  
※小学校で扱った語、表現等を繰り返し学ぶ。その際、小学校とは異なる場面や文脈で活用  
【言語の使用場面の例】  
・特有の表現がよく使われる場面：挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行、電話  
・生徒の身近な暮らしに関わる場面家庭生活、学校での学習・活動、地域行事  
【言語の働きの例】  
・コミュニケーションを円滑にする、気持ちを伝える、情報を伝える、考えや意図を伝える相手の行動を促す

④・言語面でのまとめと振り返り（話して伝えたことをより正確に書くなど）  
・内容面でのまとめと振り返り（受信したことや発信したことの整理など）

○日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりするコミュニケーション力

○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション力

高等学校

①【目的の設定・理解例】  
日常生活や社会生活に関する幅広い話題の概要・要点を的確に理解し、情報や考えなどを適切に伝えることができる。

③【目標達成のための活動例】  
・幅広い話題について聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解する活動  
・幅広い話題について話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝え合う活動  
・幅広い話題について発表、討論・議論、交渉などを行う活動  
【コミュニケーション能力の設定】  
・4技能の基礎的な能力（必修修科目）  
⇒ 的確に理解し、適切に伝え合う能力（必修修科目+選択科目）  
・英語話者が理解できる程度の英語（必修修科目）  
⇒ 英語話者が理解できる程度の英語+ある程度の流暢さ（必修修科目+選択科目）  
【話題の設定】  
身近な話題及び日常的话题や関心のある分野（必修修科目）  
⇒ 時事的な話題や社会問題など（必修修科目+選択科目）  
【情報や考えなどの発表・やりとりに関する言語活動の設定】  
・（発表）スピーチ、プレゼンテーション等  
・（やり取り）ディベート、ディスカッション等  
※小・中学校で扱った語いや表現等を繰り返し学ぶ。その際、小・中学校とは異なる場面や文脈で活用できるようにするなど、スパイラルに学習する  
※具体的な言語の使用場面に即した適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする  
※ペア・ワークやグループ・ワークを学習形態の基本とする

④・言語面でのまとめと振り返り  
【例】流暢さを重視したスピーキング活動の後で、正確さをより重視したライティング活動を行うことによる言語の質的な高まり  
・内容面でのまとめと振り返り  
【例】得られた情報や考えなどを整理することによる思考の深化

次期学習指導要領の3・4年生の年間指導計画 イメージ(案) たたき台

別添11

短時間学習は…各単元の内、系統性を確保するため、まとまりのある学習と、「繰り返しの学習」や「深まりのあるコミュニケーション活動」等とを関連付けながら、アルファベットの文字、語彙や表現の定着を図る。

平成27年12月21日

小学校3年生外国語活動週1コマ (Hi, friends! 1をベースにしたイメージ)				
単元名	時間	題材	単元目標例	HFとの関連
Lesson 1 Hello!	3	世界の言語 挨拶	・世界には様々な言語があることに気付く。英語でのあいさつの表現に慣れ親しみ、積極的に自分の名前を言って挨拶しようとする。	1-L1
Lesson 2 I'm happy.	2	外国のジェスチャー ジェスチャー 感情・様子	・表情やジェスチャーをつけて相手に感情や様子を積極的に伝えようとする。	1-L2
Lesson 3 How many apples?	4	教え方 数	・数の言い方に慣れ親しみ、身の回りのものを積極的に数えようとする。	1-L3
Lesson 4 My rainbow	5	世界の虹の色 色 I like ~. Do you like ~?	・英語と日本語の音の違いや、色について様々な見方があることに気付く。好きなものを表わしたり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。積極的に好きなものを尋ねたり答えたりしようとする。	1-L4 1-L5
Lesson 5 絵本教材 活用単元	5	動物の鳴き声の聞こえ方 動物・体の部位 位置	・言語によって動物の鳴き声の表し方が違うことに気付くとともに、動物、体の部位、位置の言い方に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いてその概要を理解しようとする。	2-L7
Lesson 6 This is my favorite.	4	食べ物・野菜 What do you like?	・食べ物や色などの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、積極的に何が好きなかを尋ねたり答えたりしようとする。	1-L6
Lesson 7 My name	4	アルファベット大文字 What do you want?	・アルファベットの読み方や、何が欲しいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、積極的に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。	1-L6
Lesson 8 Welcome to our museum	4	形・色 形状を表す語 What do you want?	・欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、積極的に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。	1-L6
Lesson 9 Who am I?	4	動物 形状・様子を表す語	・動物や形状・様子を表す語に慣れ親しみ、あるものを説明したり、あるものについて尋ねたりしようとする。	1-L7

小学校4年生外国語活動週1コマ  
(Hi, friends! 1をベースにしたイメージ)

単元名	時間	題材	単元目標例	HFとの関連
Lesson 1 Nice to meet you.	4(4)	世界の言語・挨拶 アルファベット小文字 What do you want?	・様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、初めてであった人との挨拶の仕方に慣れ親しむ。	1-L1
Lesson 2 Turn right.	4(8)	外国の学校 教室 学校	・学校の中のものや教室名の言い方に慣れ親しみ、積極的に友達を案内しようとする。	2-L5
Lesson 3 How many?	4(12)	昆虫・動物 身の回りの物 How many?	・身の回りのものや数の言い方に慣れ親しみ、身の回りの物の数を積極的に尋ねたり答えたりしようとする。	1-L3
Lesson 4 What's this?	5(17)	アルファベット大小文字 What's this?	・世界には様々な文字があることや、身の回りにはアルファベットの文字で表されているものが多いことに気付く。身の回りのものや、あるものが何かを尋ねる表現に慣れ親しみ、積極的にあるものが何かを尋ねたり答えたりしようとする。	1-L5
Lesson 5 Good morning!	5(22)	動作 気持ちを表す語	・動作や気持ちを表す言い方に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いてその概要を理解したり、積極的に場面にあったセリフを言ったりしようとする。	2-L7
Lesson 6 This is for you.	4(26)	アルファベット大小文字 身の回りの物 What ~ do you like?	・アルファベットの文字の読み方や身の回りのものの言い方、何が好きか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、積極的に何が好きか尋ねたり答えたりしようとする。	1-L6
Lesson 7 Ten years!	4(30)	気持ちを表す語 身の回りの物 職業 It's ~.	・気持ちを表す語や身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、積極的に大事にしているものについて紹介したり、聞いたりしようとする。	1-L2
Lesson 8 What's this? Quiz Show	5(35)	動物 形状を表す語 色・形状 What's this?	・形、色、形状等の語いやそれらに関する表現に慣れ親しみ、あるものについて積極的に説明しようとする。	1-L7

## 次期学習指導要領の5・6年生の年間指導計画 イメージ(案) たたき台

別添12

短時間学習は…各単元の内、系統性を確保するため、まとまりのある学習と、「繰り返しの学習」や「深まりのあるコミュニケーション活動」等とを関連付けながら、アルファベットの文字、語彙や表現の定着を図る。

平成28年1月12日

### 小学校5年生外国語年間70コマ

単元名	時間	題材等	目標例(二重下線部は、HFに設定されていない部分)	HFとの関連・プラスした時数
Lesson 1 Hello, everyone.	5(5)	挨拶・自己紹介 I like/don't like ~. 反応	・自分のことについて <u>簡単に紹介できるようにする</u> とともに、自分のことについて相手意識をもって伝え合おうとする。	1-L1 ③
Lesson 2 Do you have "a"?	8(13)	身の回りの英語表記 アルファベット大小文字 Do you have ~?	・身の回りにはアルファベットの文字で表されているものが多いことや、 <u>アルファベットには読み方と音があることに気付き、アルファベットの文字を読んだり、あるものを持っているかどうかを尋ねたり答えたりすることができるようにする</u> とともに、積極的にアルファベット表記に関するクイズについて <u>アルファベットの文字を読んだり書き写したり</u> 、あるものを持っているか尋ねたり答えたりしようとする。(別資料:青字部分のねらい達成補完のための短時間学習を含む本単元計	2-L1 ④
Lesson 3 When is your memorial day?	8(21)	月日・季節 When is ~? Why?	・世界には様々な行事があることに気付き、 <u>日程を尋ねたり答えたりすることができるようにする</u> とともに、 <u>自分の大切な日についてを理由を含めて積極的に伝え合ったり、丁寧にアルファベットの文字を書き写したりしようとする。</u>	2-L2 ④
Lesson 4 This is ME!	8(29)	スポーツ・楽器 身の回りのもの・動作 I can ~. Can you ~?	・人それぞれであることに気付き、 <u>物語のあらすじを聞き取ったり、できることを尋ねたり答えたりすることができるようにする</u> とともに、自分のできることやできないことを積極的に伝え合い、 <u>丁寧にアルファベットの文字を書き写そうとする。</u>	2-L3 ④
Lesson 5 Turn right.	7(36)	建物 道案内 Where is ~?	・世界の町の様子から日本との相違点に気付き、 <u>道を尋ねたり、道案内したりできるようにする</u> とともに、相手意識をもって道案内したり、 <u>正確にアルファベットの文字を書き写したりしようとする。</u>	2-L4 ④
Lesson 6 This is our town!	8(44)	自然 食べ物 特産物等 This is ~.	・自分たちの町の様子から、世界との共通点に気付き、 <u>自分たちの住む町について伝え合うことができるようにする</u> とともに、自分たちの住む町のお薦めを相手意識をもって紹介しようとしたり、 <u>正確にアルファベットの文字を書き写したりしようとする。</u>	新規 ⑧
Lesson 7 My school schedule	8(52)	教科名 曜日 身の回りのもの I study ~ on Monday.	・世界の同年代の子供の学校生活から自分たちとの相違点や共通点、 <u>単語はアルファベットの文字がまとまってできていることに気付き、学校生活について説明しあったり、正確にアルファベットの文字を書いたりできるようにする</u> とともに、お気に入りの時間を入れた時間割を積極的に伝え合ったりしようとする。	1-L8 ③
Lesson 8 Healthy menu	8(60)	食べ物 食習慣 What would you like?	・世界には様々な食生活があることに気付き、 <u>丁寧に欲しい物を尋ね、答えたり、正確にアルファベットの文字を書き写すことができるようにする</u> とともに、健康に良い食事について、積極的に伝えようとする。	1-L9 ④
Lesson 9 We are good friends.	10(70)	世界の童話 日本の童話 Let's ~.	・世界には子供たちに様々な願いを込めて書かれた童話等があることや、 <u>アルファベットの文字がまとまって単語になることに気付き、まとまった英語の物語を聞いて、内容がわかり、場面に合ったセリフを言ったり、正確にアルファベットの文字を書き写すことができるようにする</u> とともに、積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。	2-L7 ④

**【短時間学習の例・イメージ】**  
例えば、Lesson 3  
自分の大切な日について

○季節・月日などの語彙や日程を尋ねたり答えたりする表現を

主な目標と活動

・「チャンツ」を通して、季節・月日などの単語に慣れる。  
・「ステレオゲーム」を通して、月日などの単語や日程の尋ね方を使えるようにする。  
・補助教材ワークシートなどを活用してアルファベットの文字を丁寧に書き写すようにする。

この短時間学習を  
45分+15分で  
60分として、

小学校6年生外国語年間70コマ

単元名	時間	題材	目標例	HFとの関連・プラスした時数
Lesson 1 Hello, nice to meet you.	5(5)	挨拶 自己紹介 I'm ~.	・世界には様々なあいさつの仕方があることに気付くとともに、 <u>簡単なやりとりをして自分について伝え合ったり、自分の名前を正確に書いたりすることができる</u> ようにするとともに、自分について相手意識をもって伝えあったりしようとする。	1-L1 ③
Lesson 2 This is our school.	8(13)	教室名 身の回りの物 形状・気持ちを表す語 I like ~.	・世界の子供たちの生活から自分たちとの共通点や相違点に気付くとともに、 <u>自分の学校について簡単に説明したり、学校名を正確に書いたりすることができる</u> ようにするとともに、 <u>自分たちの学校について自分の考えを積極的に伝えあったりしようとする</u> 。	2-L4 ④
Lesson 3 Let's go to Italy.	8(21)	世界の国々 生活 I want to go to ~.	・世界の国々の様子から日本との共通点や相違点に気付き、 <u>行ってみたい国についてその理由とともに簡単に説明したり、国名を正確に書き写したりすることができる</u> ようにするとともに、お薦めの国について相手意識をもって伝えあったり、 <u>単語を推測して読んだりしようとする</u> 。	2-L5 ④
Lesson 4 Welcome to our country.	8(29)	日本の特徴 ~ is ~.	・日本の様子から世界の国々との共通点や相違点に気付き、 <u>日本について伝えることができる</u> ようにするとともに、 <u>日本の良さについて自分の考えを相手意識をもって簡単に紹介し合い、単語を正確に書き写したり、推測して読んだりしようとする</u> 。	新規 ⑧
Lesson 5 What time do you get up?	8(37)	一日の生活 時刻 I get up at 7:00.	・世界の人々は様々な生活の中で精一杯生活を営んでいることや、時差があること、 <u>英語と日本との表記の仕方の違いに気付き、自分の一日の生活について伝え合うことができる</u> ようにするとともに、自分の大切にしている時間について積極的に伝え合い、 <u>単語を正確に書き写したり、推測して読んだりしようとする</u> 。	2-L6 ③
Lesson 6 A letter to ....	8(45)	動物 ~ is chasing ~.	・世界の様々な課題や、 <u>英語の語順に気付き、まとまった内容の話聞いて理解し、自分のできることを伝え合い、単語を正確に描き写したりできるようにするとともに</u> 、世界の様々な課題に対して自分ができていることを積極的に伝え合ったり、 <u>単語を推測して読んだりしようとする</u> 。	2-L3・L7 ⑧
Lesson 7 My memorial event	8(53)	学校生活 My memorial event is ~.	・世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気付き、 <u>6年間の小学校生活について自分の考えを伝え合ったり、単語を正確に書き写したりすることができる</u> ようにするとともに、 <u>思い出に残る行事についてその理由を含めて積極的に伝え合ったり、単語を推測して読んだりしようとする</u> 。(下線部のねらい達成補完のための短時間学習を含む本単元計画)	新規 ⑧
Lesson 8 What do you want to be?	8(61)	職業 気持ちを表す語 I want to be a teacher.	・世界には様々な夢をもつ同年代の子供たちがいることに気付き、 <u>つきたい職業について伝え合ったり、単語を正確に書き写したりすることができる</u> ようにするとともに、自分の将来について積極的に伝え合ったり、 <u>単語を推測して読んだりしようとする</u> 。	2-L7 ④
Lesson 9 Junior High School Life	9(70)	中学校生活 I want to enjoy ~.	・ <u>中学校生活についてのまとまった話を理解し、自分の考えを表現したり、単語を正確に書き写したりできるようにするとともに</u> 、 <u>中学校生活の期待について相手意識をもって簡単なスピーチをしたり、単語を推測して読んだりしようとする</u> 。	新規 ⑧

【短時間学習の例・イメージ】

例えば、Lesson 6

学校行事について

主な目標と活動

○思い出の学校行事について自分の考えを表現するとともに、思い出の学校行事名を正確に書き写すことができる。

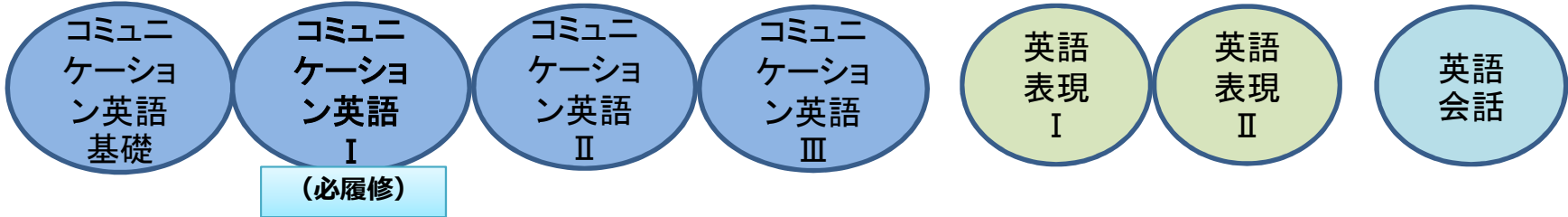
・「学校行事かるた取りゲーム」を通して、学校行事を表す単語に慣れる。

・「チャンツ」を通して、行事の言い方を使

るようにする。

・「学校行事名の文字をなぞる」活動を

外国語  
現行科目



課題

- 生徒の英語力について、4技能全般、特に「話すこと」と「書くこと」の能力が課題
- 英語の学習意欲に課題
- 言語活動、特に、統合型の言語活動（例：聞いたり読んだりしたことに基づいて話したり書いたりする活動）が十分ではない
- グローバル時代において、英語学習に関する生徒の多様化への対応が必要

発信力が弱い

育成すべき  
資質・能力等

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、他者を尊重し、聞き手・話し手・読み手・書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力を養う

4技能総合型(必修科目を含む)の科目を核とする

発信能力の育成をさらに強化する

英語による思考力・判断力・表現力を高める見直し

英語コミュニケーション I・II・III (仮称)

- 4技能を総合的に育成（受信・発信のバランス）
- 明確な目標（英語を用いて何ができるようになるか）を達成するための構成・内容
- 複数の技能を統合させた言語活動が中心
- 「英コミュ I」は中学校段階での学習の確実な定着（高等学校への橋渡し）を含む。

学習指導要領に掲げられる資質・能力を確実に育成するための指標形式の目標を段階的に設定

論理・表現 I・II・III (仮称)

- 「話すこと」「書くこと」を中心とした発信力の強化
- スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの言語活動が中心
- 聞いたり読んだりして得た情報や考えなどを活用してアウトプットする技能統合型の言語活動

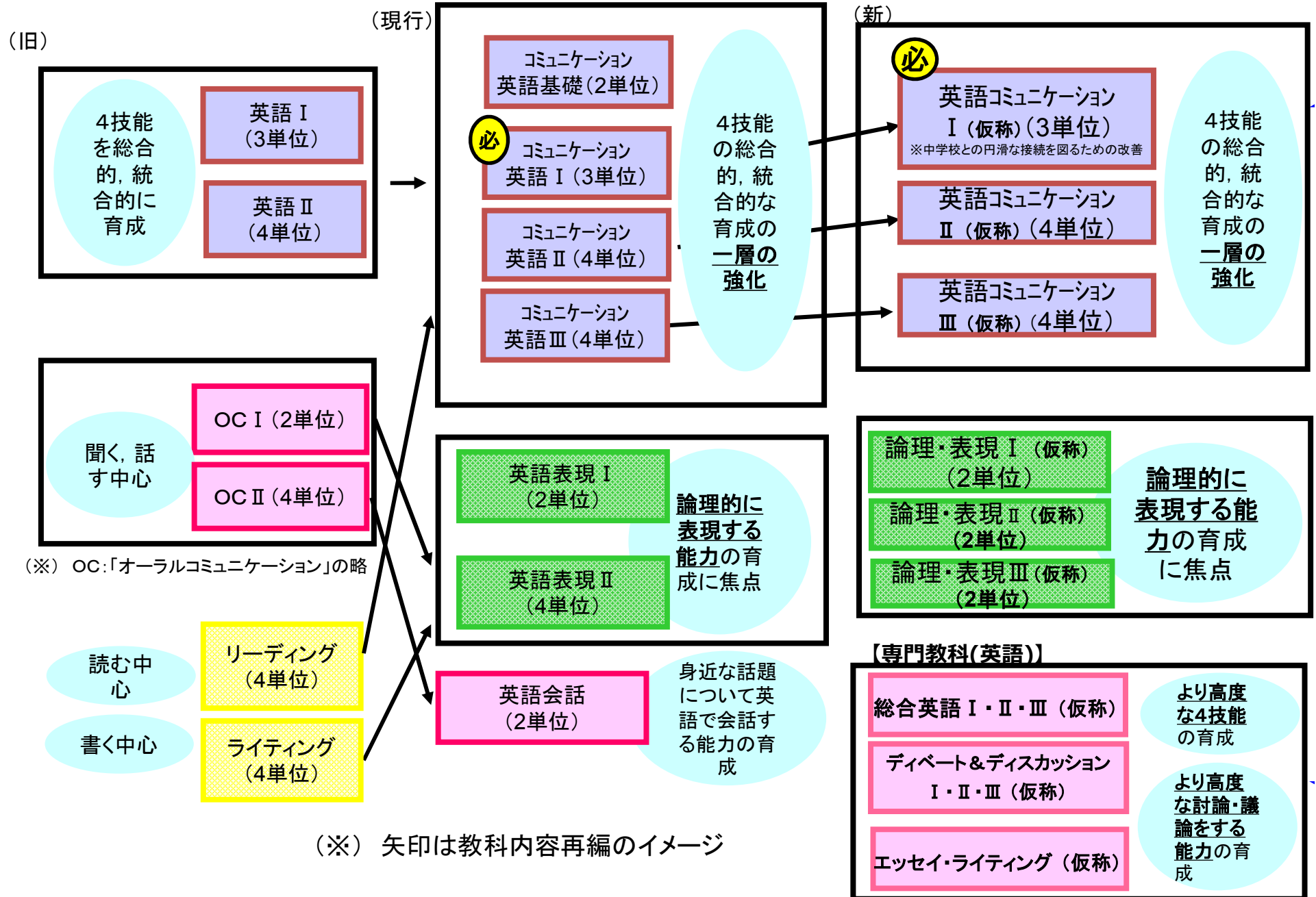
併せて専門教科「英語」の各科目も見直し  
⇒ 総合英語 I・II・III (仮称), ディベート&ディスカッション I・II (仮称), エッセー・ライティング I・II (仮称)

I ↓ III へ内容の高度化・話題の多様化

改訂の方向性 (案)

生徒が実社会や実生活の中で、自らが課題を発見し、主体的・協働的に探求し、英語で考えや気持ちを互いに伝え合うことを目的とした学習

(参考) 現行学習指導要領の高等学校における英語科目の見直し等 (たたき台) 平成28年1月12日現在





# 高等学校 英語科における教育のイメージ（検討のたたき台）

- ◎ 外国語に関する専門的かつ高度な学習を通して、外国語やその背景にある文化を尊重し、外国語の見方・考え方を働かせ、相手に配慮しながら、多様な情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを行うことができる資質・能力を次のとおり育成する。
- ① 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の適切な音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）を活用したコミュニケーションの場面において高度に運用できる技能を身に付けることができるようにする。
- ② コミュニケーションの目的・場面・状況等に応じて、専門的な事柄を含む幅広い話題について、外国語を聞いたり読んだりして多様な情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解したり、それらを活用して外国語を話したり書いたりして流暢に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを行う力を高めることができるようにする。
- ③ 外国語の学習を通じて、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度をもてるようにする。



【育成する人材像】 グローバル社会において、外国語による豊かなコミュニケーション能力を有し、言語や文化の多様性を尊重しつつ、積極的に国際的な舞台で活躍する人材

## 科目構成

【現行】

履修させる科目  
選択により

総合英語Ⅱ(仮称) (1) 聞くこと (2) 話すこと (やりとり・発表) (3) 読むこと (4) 書くこと

総合英語Ⅲ(仮称) (1) 聞くこと (2) 話すこと (やりとり・発表) (3) 読むこと (4) 書くこと

ディベート&ディスカッションⅡ(仮称) (1) スピーチ (2) プレゼンテーション (3) ディベート (4) ディスカッション

エッセイ・ライティングⅠ(仮称) (1) パラグラフの構成 (2) エッセイ・ライティング

エッセイ・ライティングⅡ(仮称) (1) パラグラフの構成 (2) エッセイ・ライティング

全ての生徒に履修させる科目

総合英語Ⅰ(仮称) (1) 聞くこと (2) 話すこと (やりとり・発表) (3) 読むこと (4) 書くこと

ディベート&ディスカッションⅠ(仮称) (1) スピーチ (2) プレゼンテーション (3) ディベート (4) ディスカッション

改善・充実の方向性

- ・外国語に関する専門的かつ高度な知識や技能を高める学習の充実

- ・高度な発表、討論・議論、交渉等ができる総合的なコミュニケーションの力を高める学習の充実

- ・言語とその背景にある文化を尊重しようとする態度の育成の充実

# 外国語教育における観点別評価・たたき台（イメージ）案

評価の観点(論点整理)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校 外国語活動	<p>○外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、簡単な語句や表現などの外国語を聞いたり言ったりしている。</p> <p>○外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語との音声の違いに気付いている。</p>	<p>○簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりして表現している。</p>	<p>○外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○言語の大切さや、文化の違いに気づき、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
小学校 外国語	<p>○外国語の4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)について、定型表現など実際のコミュニケーションにおいて必要な知識・技能を身に付けている。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の仕組み(音、単語、語順など)や、その背景にある文化などに気付いている。</p>	<p>○馴染みのある定型表現を使って、自分のことや気持ち、身の回りのことなどについて質問したり答えたりするなどして表現している。</p>	<p>○外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
中学校 外国語	<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>○具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。</p>	<p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>
高等学校 外国語	<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>

# 外国語教育におけるICTの活用について(たたき台)

## (現状と今後の方向性)

別添15

各教科等における情報に関わる資質・能力の育成 改善・充実のポイントのイメージ(案)

外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国語によるコミュニケーションに必要な情報を抽出し、得られた情報を基に自分の考えを構築し、効果的に伝えるために必要な力を育成すること。</li> <li>○ アクティブ・ラーニングの視点に立ったペア・ワークやグループ・ワークなどの学習活動において、ICTを効果的に活用した学習が行われるようにすること。</li> <li>○ 外国語に触れるとともに実際に外国語を使う機会を増やすためにも、ICTを積極的に活用すること。</li> </ul>
-----	---

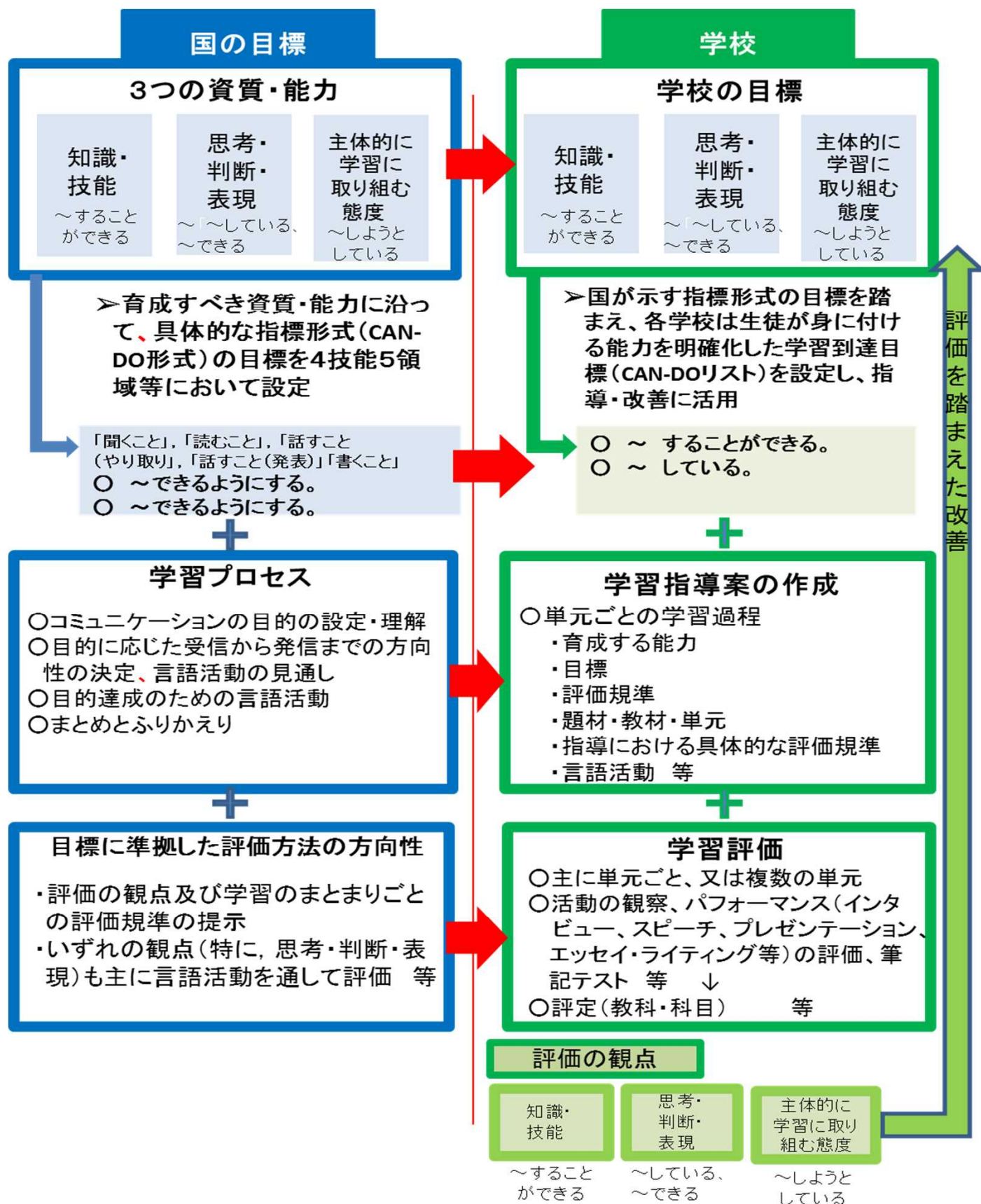
平成28年1月18日 総則・評価部会(第4回)資料より



	○現行の学習指導要領 (◇解説)	参考 (26年度)	方向性	活用例
小学校	<p>○音声を扱う場合には、CD、DVDなどの視聴覚教材を積極的に活用すること。 その際、使用する視聴覚教材は、児童、学校及び地域の実態を考慮して適切なものとする。</p> <p>◇さまざまな視聴覚教材が手に入ることを考えると、それらを使う目的を明確にし、児童や学校及び地域の実態に応じたものを選択することが大切である。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の環境整備 (校内LANの整備や必要機器の設置等)</li> <li>・教員によるICTリテラシーの差 (効果的な指導法の共有不足)</li> </ul>	<p>87.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン 88.7%</li> <li>・デジタルカメラ 37.1%</li> <li>・電子黒 31.8%</li> </ul>	<p>・視聴覚教材、パソコン、情報通信ネットワークなどを、身に付けるべき能力や児童生徒の現状(能力・適性や興味・関心など)に応じて活用する。これらを通じ、児童生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化及び言語活動の更なる充実を図り、児童生徒の4技能にわたる総合的なコミュニケーション能力向上に資する。</p>	<p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア等で会話などのシミュレーションの交流や、会話などの言語活動を効果的に行うためのICTの活用 等</li> </ul> <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声中心にデジタル教材や電子黒板等を活用して、児童にネイティブの発音に触れ、日本語と英語の音声の違いに気付かせる</li> <li>・情報通信ネットワーク等を通して、中学校区内小学校や、校種の違う学校及び、海外の学校との交流により、外国語を使ったコミュニケーションを実体験することがさらにコミュニケーションへの意欲を喚起 等</li> </ul> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度に応じた発音等の練習</li> <li>・活動の振り返り 等</li> </ul>

	○現行の学習指導要領 (◇解説)	参考 (26年度)	方向性	活用例
中学校	<p>○生徒の実態や教材の内容などに応じて、コンピュータや情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用すること。</p> <p>◇視聴覚機器を効果的に使うことで教材が具体化され、生徒にとって身近なものとしてとらえられるようになるとともに、生徒の興味・関心を高め、自ら学習しようとする態度を育成できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワーク等を使い、教材に関する資料や情報を入手することや、情報を英語で発信したりすることで、主体的に世界と関わっていかうとする態度を育成できる。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の環境整備 (校内LANの整備や必要機器の設置等)</li> <li>・教員によるICTリテラシーの差 (効果的な指導法の共有不足)</li> <li>・ICT活用に適した教材の不足</li> </ul>	<p>89.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> </ul> <p>87.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板</li> </ul> <p>51.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書画カメラ</li> </ul> <p>23.6%</p>		<p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の意見や考えを議論し、互いの意見を伝え合う</li> <li>・グループでの情報の収集・整理 (リサーチ活動)</li> <li>・プレゼンソフトを活用し、与えられたテーマ等について口頭で発表 等</li> </ul> <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等による調査</li> <li>・テレビ会議システムを活用し、外国の生徒と交流(相互の学校紹介等)</li> <li>・電子黒板等を用いた分かりやすい課題の提示</li> <li>・遠隔地の学校との交流</li> <li>・情報通信ネットワーク等を用い、教材に関する資料や情報を入手 等</li> </ul> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の振り返りや自己評価</li> <li>・話すことのパフォーマンスをタブレットで録画し、自分や他の生徒の様子振り返り</li> <li>・自分が書いた文章を実際にメールで送信等</li> </ul>
高等学校	<p>○各科目の指導に当たっては、指導方法や指導体制を工夫し、ペア・ワーク、グループ・ワークなどを適宜取り入れたり、情報通信ネットワーク等を適宜指導に生かしたりする。</p> <p>◇視聴覚教材などを活用して現実感や臨場感を与えたり、パソコンなどを利用して生徒の能力・適性や興味・関心に応じた個別学習の機会を拡大したり、情報通信ネットワークを有効に活用して発展的な言語活動を実際に体験させたりするなど、様々な指導方法や指導体制の工夫をすることが大切である。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の環境整備 (校内LANの整備や必要機器の設置等)</li> <li>・教員によるICTリテラシーの差 (効果的な指導法の共有不足)</li> <li>・ICT活用に適した教材の不足</li> </ul>	<p>74.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> </ul> <p>86.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者用タブレット</li> </ul> <p>28.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルビデオカメラ</li> </ul> <p>20.5%</p>	<p>・視聴覚教材、パソコン、情報通信ネットワークなどを、身に付けるべき能力や児童生徒の現状(能力・適性や興味・関心など)に応じて活用する。これらを通じ、児童生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化及び言語活動の更なる充実を図り、児童生徒の4技能にわたる総合的なコミュニケーション能力向上に資する。</p>	<p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得られた情報を活用した意見等の構築</li> <li>・発表、討論・議論、交渉などの言語活動を効果的に行うためのICT機器の活用 等</li> </ul> <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの情報の収集・整理(リサーチ活動)</li> <li>・扱う話題に関連した教材(英文、音声、動画等)の提示による発展的な言語活動</li> <li>・言語活動の展開方法等のビジュアル化</li> <li>・国内外の遠隔地の学校(海外の姉妹校を含む)等とのEメールやテレビ会議による交流 等</li> </ul> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の振り返りや自己評価 等</li> </ul>

# 外国語教育における目標、学習プロセス、評価の構造（イメージ）



評価を踏まえた改善

## 小学校 第6学年 外国語 学習指導案例 (イメージ)

### 1 育成する能力

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、身近で簡単なことについて外国語の基本的な表現に関わって聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

### 2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)について、定型表現など実際のコミュニケーションにおいて必要な知識・技能を身に付けている。</li> <li>・外国語の学習を通じて、言語の仕組み(音、単語、語順など)などに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みのある定型表現を使って、自分の事や気持ち、身の回りのことなどについて質問したり答えたりするなどして表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・外国語の学習を通じて、言語や、多様なものの見方や考え方の大切さに気付いて、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

### 3 取り上げる単元

(1) 単元名 My memorial event (全8時間:45分授業6コマ+15分短時間学習6回)

(2) 単元の目標

6年間の小学校生活について自分の考えを伝え合ったり、単語を正確に書き写したりすることができるようにするとともに、思い出に残る行事についてその理由を含めて相手意識を持って伝え合ったり、単語を推測して読んだりしようとする。

### 4 該当する指標形式(CAN-DO)の目標(イメージたたき台)

話すこと	□自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
読むこと	□音声で十分に慣れ親しんだ、語句身近で具体的な事物を表す単語を持って、その意味を理解できるようにする。
書くこと	□例文を参考にしながら、音声などで十分慣れ親しんだ語句や文を書き写すことができるようにする。

### 5 学習指導における具体的評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の言い方や気持ちの表し方を理解している。</li> <li>・単語を正確に書き写すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事について自分の考えを表現している。</li> <li>・小学校生活の思い出に残る行事についてその理由を含めて自分の考えを伝え合っている。</li> <li>・単語を推測して読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事について自分の考えを表現しようとしている。</li> <li>・小学校生活の思い出に残る行事についてその理由を含めて自分の考えを伝えようとしている。</li> <li>・単語を推測して読もうとしている。</li> </ul>

6 指導と評価の展開 数字1-6:45分授業 短①-⑥:短時間学習

次	時	評価規準と評価方法	学習活動
一	1 短 ①	【評価規準】 学校行事を表す語を理解している。 【評価方法】 クイズ・ゲームでの様子の観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこの国でしょうクイズ」を通して、行事に興味を持つ。</li> <li>・「学校の様々な行事クイズ」、「行事ビンゴ」、「行事マッチングゲーム」を通して、様々な行事の言い方を知る。</li> <li>・「チャンツ」を通して、行事の言い方が使えるように練習する。</li> </ul>
二	2 3 短 ② ③	【評価規準】 学校行事について自分の考えを表現している。 【評価方法】 ② ペアでのインタビューの様子の観察 ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生の思い出行事についての話を聞く」ことを通して、単元最後の見直しを持つ。</li> <li>・「チャンツ」「学校行事クイズ」を通して、行事の言い方が使えるように練習する。</li> <li>・「ラッキーカードゲーム」「行事についてインタビュー」を通して、学校行事について自分の考えを表現する。</li> </ul>
三	4 短 ④ ⑤	【評価規準】 ・学校行事について自分の考えを表現している。 ④ ・思い出の学校行事名を正確に書き写している。 ⑤ 【評価方法】 ・ペアでのインタビューの様子の観察 ・ワークシートで文字なぞりを点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チャンツ」を通して、行事や気持ちの表し方が使えるように練習する。</li> <li>・「学校行事名クイズ」「学校行事名の文字をなぞる」活動を通して、学校行事の単語に見慣れる。</li> <li>・「校内の先生の思い出行事クイズ」「思い出の学校行事インタビュー」を通して、学校行事について自分の考えを表現する。</li> </ul>
四	5 6 短 ⑥	【評価規準】 ・学校行事について自分の考えを伝え合ったり、単語を正確に書き写したりしている。 ⑥ ・思い出に残る行事についてその理由を含めて伝え合ったり、単語を推測して読んだりしようとしている。 【評価方法】 ・プレゼンテーション観察 ・プレゼンテーションシートを点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チャンツ」を通して、行事や気持ちの表し方が使えるように練習する。</li> <li>・「思い出の学校行事インタビュー」を通して、学校行事について自分の考えを表現する。</li> <li>・「思い出の学校行事を書き写す」活動を通して、単語を正確に書き写す。</li> <li>・「学校行事名マッチングゲーム」を通して、学校行事の単語に見慣れる。</li> <li>・「思い出の学校行事クイズ」を通して、学校行事の単語を読もうとしたり、思い出に残る学校行事についてその理由を含めて伝え合ったりする。</li> </ul>

## 小学校 第3年 外国語活動 学習指導案 例（イメージ）

### 1 育成する能力

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

### 2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、簡単な語句や表現などの外国語を聞いたり言ったりしている。</li> <li>・外国語を用いた体験的な活動として、日本語と外国語との音声の違いに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語句や表現を使って、自分ことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりして表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・言語の大切さや文化の共通点や相違点や、様々な見方や考え方があることに気付いて、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

### 3 取り上げる単元

(1) 単元名 In the Autumn Forest 自分たちの絵本を作ろう (全4時間)

#### (2) 単元の目標

- ・まとまりのある英語での物語を聞いて、その概要を理解しようとする。
- ・絵本の筋にあわせて、相手意識を持って自分が選んだ動物を紹介しようとする。
- ・動物や体の部位、形状を表す語に慣れ親しむ。
- ・カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付く。

### 4 指標形式 (CAN-DO) の目標 (イメージたたき台)

聞くこと	□ ゆっくりはっきりと、繰り返し話されれば、自分に関することや身近で具体的な事物を表すごく簡単な語句や文を聞き取ることができるようにする。
話すこと	□ 自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

### 5 具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物や体の部位、形状を表す語を理解している。</li> <li>・カタカナで表す動物とその英語の音の違いに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある英語での物語の概要を理解して表現している。</li> <li>・絵本の筋にあわせて、相手意識を持って自分が選んだ動物を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある英語での物語の概要を理解し、表現しようとしている。</li> <li>・絵本の筋にあわせて、相手意識を持って自分が選んだ動物を紹介しようとしている。</li> </ul>



## 6 指導と評価の展開

時	評価規準と評価方法	目標 (○) ・学習活動
1	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物を表す語を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ・歌での様子の観察、振り返りカード点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の質問に答えながら、絵本の読み聞かせを通して、動物を表す語を知る。(p.22 まで)</li> <li>「カルタ取りゲーム」「集中力ゲーム」を通して、動物を表す語を理解する。</li> <li>歌を通して体の部位の言い方を知る。</li> </ul>
2	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付いている。</li> <li>動物や形状を表す語を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせ・ゲーム・歌での様子の観察・振り返りカード分析/点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を通して体の部位の言い方を理解する。</li> <li>指導者の質問に答えながらの読み聞かせ(最後まで)を通して、カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付く。</li> <li>「動物キーワードゲーム」「形状+体の部位+動物キーワードゲーム」「動物ミッシングゲーム」「小型絵本を使って絵本ページ探し」を通して、動物や形状を表す語を理解し、使えるように練習する。</li> </ul>
3	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのある英語での話を聞いてその概要を理解している。</li> <li>動物や形状を表す語を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせ・ゲーム・歌での様子の観察・振り返りカード点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を通して体の部位の言い方を理解する。</li> <li>指導者の質問に答えながらの読み聞かせを通して、まとまりのある英語での話の概要を理解する。</li> <li>「小型絵本を使って絵本ページ探し」「形状+体の部位+動物キーワードゲーム」「動物ステレオゲーム」「チェーンゲーム」を通して、動物や形状を表す語を練習する。</li> <li>先生のオリジナルページを含む絵本の読み聞かせを通して、まとまりのある英語での話の概要を理解する。</li> </ul>
4	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の筋に合わせて、自分が選んだ動物について紹介しようとしている。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループでクイズを出している様子の観察・振り返りカード点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを聞きながら、指導者と一緒に絵本の台詞を言うこと、「先生の動物クイズ」を通して動物や形状の言い方が使えるよう練習する。</li> <li>「動物でクイズ」を通して、絵本の筋にあわせて自分が選んだ動物について紹介する。</li> </ul>

## 中学校外国語科 学習指導案 <イメージ 例>

### 1 育成する能力

○学習指導要領 内容(1)イ(イ)

「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」

**2 評価規準** ※「外国語教育における観点別評価・たたき台（イメージ）案」（H28.03.22 外国語 WG 資料6）をベースに改訂

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</li> <li>・英語の音声、語彙・表現、文法を、英語の4技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面、目的、状況、テキストタイプに応じて、幅広い話題について英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解している。</li> <li>・聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面、目的、状況に応じて、幅広い話題について英語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図などを適切に伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</li> </ul>

### 3 取り上げる題材・教材・単元

単元名 ナイアガラの滝（第1学年）

単元の目標

- 町や観光地を口頭で案内する。
- ペアワークにおいて、間違えることを恐れず話す。
- 助動詞 can を用いた文の構造を理解する。
- 疑問詞 when を用いた文の構造を理解する。

### 4 具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。</li> </ul>	<p>町や観光地を口頭で案内している。</p>	<p>ペアワークにおいて、間違えることを恐れず話している。</p>

## 5 単元に該当する指標形式 (CAN-DO) の目標

話すこと (発表)	ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができるようにする。
--------------	---

## 6 指導と評価の展開

次	時	評価規準と評価方法	学習活動
第一 次	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>• warm-up として、どんな観光地へ行ったことがあるかを対話する。</li> <li>• 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。</li> <li>• 助動詞 can を用いた文の構造を知る。</li> <li>• 教科書本文を通して、can の使い方を理解する。</li> <li>• 教科書本文から、町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。</li> <li>• can を用いた文を使えるように練習する。その際、町や観光地の場面も含めることに配慮する。</li> </ul>
	2	<p>【評価規準】 助動詞 can を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【評価方法】 後日筆記テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 助動詞 can を用いた文の構造を知る。</li> <li>• 教科書本文を通して、can を用いた疑問文の使い方を理解する。</li> <li>• 教科書本文から、町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。</li> <li>• can を用いた文を使えるように練習する。</li> <li>• can を用いた疑問文を用いて応答練習する。その際、町や観光地の場面も含めることに配慮する。</li> </ul>
第二 次	3	<p>【評価規準】 疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【評価方法】 後日筆記テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 疑問詞 when を用いた文の構造を知る。</li> <li>• 教科書本文を通して、when の使い方を理解する。</li> <li>• 教科書本文から、町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。</li> <li>• when を用いた文を使えるように練習する。その際、町や観光地の場面も含めることに配慮する。</li> </ul>
	4	<p>【評価規準】 ペアワークにおいて、間違ふことを恐れず話している。</p> <p>【評価方法】 活動の観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• We are going to ～, That's ～, We can see ～ など教科書で用いられている町や観光地を案内する時に使われる表現をまとめる。</li> <li>• 他の表現を補足説明する。</li> <li>• ペアで町や観光地を案内する表現を使う練習をする。</li> </ul>

第三次	5	<p>【評価規準】 ペアワークにおいて、間違えることを恐れず話している。</p> <p>【評価方法】 活動の観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで町や観光地を案内し合う。</li> <li>・グループで町や観光地を案内し合う。</li> <li>・全体の前で町や観光地を案内する。</li> </ul>
	6	<p>【評価規準】 町や観光地を口頭で案内している。</p> <p>【評価方法】 ダイアログテスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで町や観光地を案内する練習をする。</li> <li>・バスで観光地を巡っている場面を想定して、紹介する場所や相手を変えながら他の生徒と自由に案内し合う。</li> <li>・上記の活動中に教師のところへ来て、2か所の町や観光地を案内する。</li> </ul>
後日	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 <b>can</b> を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・疑問詞 <b>when</b> を用いた文の構造を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】 筆記テスト</p>	<p>&lt;筆記テスト&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇外国人の友人について、できることを書いて紹介する問題</li> <li>◇場面を与えて適当な表現を書く問題</li> </ul>	

# 高等学校 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」 学習指導案 <イメージ例>

## 1 育成する能力 ※現行学習指導要領「コミュニケーション英語Ⅰ」より

○学習指導要領 内容の(1)のイ

「説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。」

○学習指導要領 内容の(1)のウ

「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。」

## 2 評価規準 ※「外国語教育における観点別評価・たたき台（イメージ）案」（H28.03.22 外国語 WG 資料6）をベースに改訂

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の働きや役割などを理解し、英語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</li> <li>・英語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面、目的、状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</li> <li>・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面、目的、状況等に応じて、幅広い話題について英語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語やその背景にある文化、多様なものの見方や考え方に対する理解を深め、これらを尊重するとともに、自律的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</li> </ul>

※以下、「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校・外国語）」をベースに改訂

## 3 取り上げる単元の目標・題材・教材・単元

### Lesson 3 My Dreams for the Future

本単元は、海外に渡って成功を収めた日本人の料理人が、どのようにして自分の夢を見つけ、それを実現していったかについて、インタビューを通して紹介する内容である。高校生にとって関心の高い将来の夢や職業選択という話題について、読んで得た情報を口頭で要約するとともに、自分自身の考えやその理由を口頭で伝える能力を育成する。

## 4 本単元に該当する指標形式(CAN-DO)の目標

指標形式 (CAN-DO) の目標	
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができるようにする。</li> <li>□ 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できるようにする。</li> </ul>
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ (発表) 身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができるようにする。</li> <li>□ (やり取り) 日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。</li> </ul>

## 5 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや気持ちを伝える表現 (think / hope [that] S'+V' ~など) の使い方を理解しているとともに、それを実際のコミュニケーションの場面で使う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物についての説明を読んで得た情報を整理し、その内容を適切な表現を用いて口頭で要約している。</li> <li>・読んで得た情報や語彙・表現などの言語知識を活用して、自分の将来の夢について話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んで得た情報について感想や意見を述べ合うペア・ワークやグループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けようとしている。</li> </ul>

6具体的な評価基準と評価方法、学習活動

		具体的評価基準と評価方法	学習活動
第一 次	1		<p>【概要】本文全体を速読し、キーワードなどを手がかりにして概要を捉える。</p> <p>① 教師のオーラル・イントロダクションを聞いたり教師からの質問に答えたりするなどして、単元内容についての背景となる知識（スキーマ）を高める。</p> <p>② ワークシートに示された概要把握のための質問を見てから本文全体を読み、必要な情報についてメモをとる。</p> <p>③ ペアでQ-Aを行い、内容を確認する。</p>
	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5	<p>【評価基準】（知識・技能） ⇒ 学習活動②に対応 自分の考えや気持ちを伝える表現（think/hope [that] S+V ~など）の使い方を理解しているとともに、それを実際のコミュニケーションの場面で使う技能を身に付けている。</p> <p>【評価方法】 後日、以下の筆記テスト（定期考査）を実施。（筆記テストの内容）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問：RinaとLucyが、将来の夢について話しています。（ ）内の指示に従って、下線部にLucyの発言を英語で書きなさい。</p> <p>Rina: What do you think of the chef we read about in the textbook?</p> <p>Lucy: He's great. I think it's important to have a dream.</p> <p>Rina: I agree. What is your dream?</p> <p>Lucy: My dream is to be a violinist. I practice the violin every day. _____</p> <p>（“hope”を用い、Lucyになったつもりで将来の夢に関する具体的な希望を伝える）</p> </div> <p>【評価基準】（主体的に学習に取り組む態度） ⇒ 学習活動⑦～⑨に対応 読んで得た情報について感想や意見を述べ合うペア・ワークやグループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けようとしている。</p> <p>【評価方法】 ・教室内を巡回してペア・ワーク（§ 4の内容に対する感想や意見についてペアで伝え合う活動）を観察し、必要に応じて会話を続けるための表現を使うなどして、不自然な沈黙を置かずに活動に取り組んでいるかどうかを確認する。 ・授業終了後にワークシート（§ 4の内容に対する感</p>	<p>【概要】本文の各セクション（§ 1～§ 4）の概要・要点を理解し、口頭で要約するとともに、内容に対する感想や意見を伝え合う。 ※第2時から第5時の各時に1セクションずつ扱うこととする。</p> <p>① 教科書を閉じて本文の音声を2回程度聞き、話題や概要を把握する。</p> <p>② 必要に応じて、語、連語、慣用表現及び文構造について、意味や用法を確認する。 [各セクションで取り扱う文法事項等]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>§ 1：受け身表現及びthat節の中の時制 § 2：関係代名詞who § 3：主語＋動詞＋目的語＋目的語（= how to など） § 4：think/hope/be afraidなど+[that] S+V ~</p> </div> <p>③ 本文を読んで、ワークシート上のSummary Chart（内容を要約するためのフローチャート）を完成させる。</p> <p>④ 教師の質問に答えながらSummary Chart上の記入事項を確認し、本文の内容理解を深める。</p> <p>⑤ CDを聞きながら、音読やシャドーイング練習をする。</p> <p>⑥ ペアになり、Summary Chartを見ながら、各セクションの内容を口頭で要約する。その際、次のように、要約の方法を段階的に指導する。 [口頭要約の段階的な指導] § 1：与えられた質問に解答し、質問の英語と解答をつなぎ合わせて要約する。 § 2：与えられた複数のキーワードを用いて要約する。 § 3/§ 4：自分で本文からキーワードを抜き出し、それを用いて要約する。</p> <p>⑦ 感想や意見を述べたり話を続けたりするために必要な表現（He's cool/great/fantastic など+because... やWhat do you think? など）を練習する。</p> <p>⑧ ワークシートに、各セクションの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモする。</p> <p>⑨ ペアやグループになり、メモを参考にしながら、セクションごとに感想や意見を口頭で伝え合う。（パートナーやグループのメンバーを変えて、何度か同じ活動を行う。）</p>

		想や意見について話すためのキーワードをメモしたもの)を提出させ、記入内容を確認する。	
第三次	6	<p>【評価規準】(思考・判断・表現) ⇒ 学習活動①・②に対応 人物についての説明を読んで得た情報を整理し、その内容を適切な表現を用いて口頭で要約している。</p> <p>【評価方法】 後日、インタビューテストを実施 (インタビューテストの内容)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示された3つのキーワードを用い(順不同)、本文の要旨を述べる。</li> <li>・キーワードの選択に当たっては、本文§1から§4の各セクションについて複数のキーワードをあらかじめ準備し、それらから一つずつ、計4つを無作為に選択して生徒ごとに異なる語を示す。</li> </ul> </div>	<p>【概要】学習した語彙・表現や文法事項等を活用して、本文を自分の言葉で要約するとともに、内容に対する感想や意見を伝え合う。</p> <p>① 教科書を閉じてセクションごとに本文の音声を読み、内容上のキーワードをメモする。</p> <p>② ペアになり、メモに基づいて、各セクションの内容を口頭で要約する。その際、次のような手順で活動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>§1の聞き取りとメモ → 生徒Aが要約 §2の聞き取りとメモ → 生徒Bが要約 §3の聞き取りとメモ → 生徒Aが要約 §4の聞き取りとメモ → 生徒Bが要約</p> </div>
		<p>【評価規準】(思考・判断・表現) ⇒ 学習活動③・④に対応 読んで得た情報や語彙・表現などの言語知識を活用して、自分の将来の夢について話し合っている。</p> <p>【評価方法】 上記と同じインタビューテスト内で実施 (インタビューテストの内容)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で自分の夢を果たした日本人の料理人に関する話に基づき、自分の将来の夢について話す。</li> </ul> </div>	<p>③ 本単元で学習したことなどを参考にしながら、自分の将来の夢、その理由及びそれを実現するために必要なことについて考え、それらを伝えるためのポイントを簡単にメモする。</p> <p>④ ペアになり、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。</p>
	7・8	<p>〈インタビューテスト〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師2名で実施し、個々の生徒へ次の2つの事項について質問をする。 Q1: 本文全体の口頭要約 Q2: 自分の将来の夢</li> <li>※2カ所同時展開でテストを実施。</li> <li>・評価の信頼性を確保するため、インタビューテストを録音(録画)する。</li> <li>・所要時間は生徒1人につき約2分とし、2時間連続のテスト時間帯を確保する。</li> </ul>	<p>※テストを待っている生徒は、他教師の監督の下で、本単元の内容に関連した別の英文を読み、内容を要約して英語で書く。</p>